

平成 20 年
山梨県観光客動態調査結果

目 次

第1部 観光客動態調査

1. 調査目的.....	1
2. 調査期間.....	1
3. 調査方法.....	1
4. 調査分析項目.....	2
5. 圏域分類.....	3
6. 調査結果の概要.....	5
(1) 平成20年観光客数.....	6
(2) 平成20年宿泊客数.....	6
(3) 平成20年日帰り客数.....	6
(4) 平成20年居住地別観光客実人数.....	6
(5) 平成20年観光消費額.....	6
(6) 平成20年本県観光の概要.....	7
7. 調査結果.....	13
(1) 平成20年観光客数.....	13
(2) 平成20年宿泊客数.....	16
(3) 圏域別観光客数及び宿泊客数.....	18
(4) 平成20年観光消費額.....	28

第2部 観光客アンケート調査による分析

1. 調査の概要.....	31
2. 観光客の特性、動態状況の分析.....	32
(1) 本県観光客の全体像.....	32
(2) 属性（性別・年代）別の観光客の特徴.....	48
(3) 圏域別の観光客の特徴.....	52
参考資料	59
観光客アンケート調査票.....	59

第 1 部 觀光客動態調查

1. 調査目的

山梨県観光客動態調査（以下、「本調査」という）は、観光客の旅行ニーズや行動パターンが多様化する中で、本県観光客の実態をよりの確に把握することにより、今後の観光施策や観光関係者の事業展開の基礎資料に供することを目的とする。

2. 調査期間

平成20年1月1日～平成20年12月31日

3. 調査方法

本県観光客の実態をよりの確に把握するため、「全国観光統計基準」（社団法人日本観光協会 平成8年策定）に基づいて調査を実施し、分析を行った。

なお、単位未満は四捨五入しているため、内訳の合計が総計と一致しない場合がある。

①観光客数調査、宿泊数調査

県内の観光客施設及び宿泊施設に対して調査票を送付し、月別の観光客数を把握した。

②観光客アンケート調査

四季を通じて県内の主な観光地点において、観光客の行動パターンや観光消費額等の実態について対面聞き取り方式により調査した。

図表1 調査対象

項目	調査内容
観光客数調査	・ 県内の観光地点 787地点 【データ利用調査】 ・ 高速道路及び県営有料道路利用状況調査 ・ 道路交通センサス ・ 警察本部発表山系別登山者数 ・ 入湯税調査
宿泊客数調査	・ 県内の宿泊施設 1,444施設
アンケート調査	・ 対面聞き取り方式 3,465サンプル

4. 調査分析項目

調査分析項目は次のとおりである。

図表 2 調査分析項目

項目	分析内容
観光客数	実人数（延べ人数）
宿泊客数	実人数
観光消費額	県内総消費額 1人当たり消費額（実人数ベース） 県外・県内宿泊客消費額 県外・県内日帰り客消費額 消費額内訳
観光動態	居住地 平均訪問観光地点数（県外・県内） 平均宿泊数（県外・県内） 性別・年齢 利用交通手段 同行人数 グループ形態 観光目的 観光情報入手手段 観光消費の実態 観光地の満足度 等

5. 圏域分類

本調査では、県内を5つの圏域（峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部）に分類し、圏域毎の観光客の動向分析を行う。

なお、市町村合併による市町村界の変化に伴い、平成18年調査から各圏域の地域区分を変更している。本調査では、特に断りがない場合には、変更後の分類による分析結果を示す。

図表3 圏域分類（平成18年調査以降）

圏域名	所在市町村	
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺 芸術の森・武田神社周辺 広河原・芦安温泉周辺 櫛形山・果実郷周辺 釜無川沿岸 風土記の丘周辺	甲府市（湯村、塩部、上帯那、下帯那、高成町、黒平、竹日向） 旧敷島町 甲府市（上記地区以外） 旧芦安村 旧八田村、旧白根町、旧櫛形町 旧竜王町 旧双葉町 昭和町、旧玉穂町、旧田富町、旧若草町、旧甲西町 旧中道町、旧豊富村
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺 勝沼ぶどう郷周辺 西沢溪谷・フルーツ公園周辺 石和温泉・果実郷周辺	旧塩山市 旧勝沼町、旧大和村 山梨市（旧山梨市、旧牧丘町、旧三富村） 笛吹市（旧春日居町、旧石和町、旧御坂町、旧一宮町、旧八代町、旧境川村、旧芦川村）
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺 早川周辺 峡南北部 峡南南部	身延町（旧下部町、旧身延町、旧中富町） 早川町 市川三郷町（旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町）、増徳町、鯉沢町 南部町（旧南部町、旧富沢町）
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺 金峰・みずがき周辺 甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺 茅ヶ岳周辺	旧高根町、旧長坂町、旧大泉村、旧小淵沢町 旧須玉町 韮崎市、旧白州町、旧武川村 旧明野村
富士・東部圏域	富士山五合目 富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺 本栖湖・精進湖・西湖周辺 山中湖・忍野周辺 大月・北都留 桂川・道志川周辺	富士吉田市、旧河口湖町、旧勝山村 旧上九一色村、旧足和田村、鳴沢村 忍野村、山中湖村 大月市、旧上野原町、小菅村、丹波山村 都留市、旧秋山村、道志村、西桂町

図表4 旧圏域分類（平成17年調査まで）

圏域名	所在市町村	
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺 芸術の森・武田神社周辺 広河原・芦安温泉周辺 櫛形山・果実郷周辺 釜無川沿岸	甲府市（湯村、塩部、上帯那、下帯那、高成町、黒平、竹日向）、 旧敷島町 甲府市（上記地区以外） 旧芦安村 旧八田村、旧白根町、旧櫛形町 旧竜王町、昭和町、旧玉穂町、旧田富町、旧若草町、旧甲西町
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺 勝沼ぶどう郷周辺 西沢溪谷・フルーツ公園周辺 石和温泉・果実郷周辺 風土記の丘周辺	旧塩山市 旧勝沼町、旧大和村 山梨市（旧山梨市、旧牧丘町、旧三富村） 旧春日居町、旧石和町、旧御坂町、旧一宮町 旧八代町、旧境川村、旧中道町、旧芦川村、旧豊富村
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺 早川周辺 峡南北部 峡南南部	身延町（旧下部町、旧身延町、旧中富町） 早川町 市川三郷町（旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町）、増徳町、鯉沢町 南部町（旧南部町、旧富沢町）
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺 金峰・みずがき周辺 甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺 茅ヶ岳周辺	旧高根町、旧長坂町、旧大泉村、旧小淵沢町 旧須玉町 韮崎市、旧白州町、旧武川村 旧双葉町、旧明野村
富士・東部圏域	富士山五合目 富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺 本栖湖・精進湖・西湖周辺 山中湖・忍野周辺 大月・北都留 桂川・道志川周辺	富士吉田市、旧河口湖町、旧勝山村 旧上九一色村、旧足和田村、鳴沢村 忍野村、山中湖村 大月市、旧上野原町、小菅村、丹波山村 都留市、旧秋山村、道志村、西桂町

図表 5 新分類による圏域位置図



6. 調査結果の概要

図表 6 平成 20 年観光客実人数の概況

項目	年											平成20年 構成比	増減数	対前年比
	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年				
観光客総実人数	34,038	36,299	37,910	40,108	40,641	42,668	42,848	44,040	48,287	47,529	100.0	-758	98.4	
日帰り客	28,810	30,759	32,328	34,240	34,692	36,590	36,868	38,004	41,953	41,215	86.7	-738	98.2	
宿泊客	5,228	5,540	5,583	5,868	5,949	6,078	5,980	6,037	6,334	6,314	13.3	-20	99.7	
ホテル・旅館	3,224	3,530	3,599	3,820	3,718	3,876	4,051	4,027	4,420	4,271	67.6	-149	96.6	
民営宿泊施設	1,130	1,257	1,240	1,156	1,416	1,368	1,205	1,300	1,327	1,412	22.4	85	106.4	
ユースホステル	6	5	4	5	4	5	7	5	6	6	0.1	-1	89.8	
社会教育施設	63	125	110	183	120	131	110	76	98	122	1.9	24	124.8	
公共宿泊施設	233	206	243	250	263	228	160	186	150	174	2.8	24	116.1	
キャンプ場	572	416	387	455	428	470	447	443	333	329	5.2	-4	98.8	
峡中	717	681	650	687	695	621	616	633	673	676	10.7	3	100.4	
峡東	960	982	1,079	1,029	1,027	1,029	1,099	1,102	1,168	1,130	17.9	-38	96.8	
峡南	273	252	272	313	278	272	306	296	299	288	4.6	-10	96.5	
峡北	832	870	791	847	888	805	761	735	780	760	12.0	-21	97.4	
富士・東部	2,440	2,755	2,790	2,991	3,061	3,351	3,198	3,270	3,414	3,460	54.8	46	101.3	
県外客	23,348	24,524	25,772	24,072	25,798	30,813	30,886	28,815	32,190	31,749	66.8	-441	98.6	
県内客	10,690	11,776	12,139	16,035	14,843	11,855	11,962	15,225	16,097	15,780	33.2	-317	98.0	
春(3～5月)	8,125	8,439	8,870	9,388	9,332	9,644	9,927	10,010	11,173	11,654	24.5	481	104.3	
夏(6～8月)	11,425	12,327	13,047	13,680	13,858	14,411	14,408	14,690	15,527	14,886	31.3	-641	95.9	
秋(9～11月)	9,397	10,584	10,927	11,554	11,949	12,073	12,435	12,855	13,959	13,221	27.8	-738	94.7	
冬(12,1月)	5,091	4,949	5,066	5,486	5,502	6,539	6,077	6,485	7,628	7,769	16.3	141	101.8	
峡中	7,325	7,973	8,176	8,656	8,313	8,795	8,956	9,974	12,551	12,864	27.1	312	102.5	
峡東	6,282	6,422	6,814	6,573	6,792	7,267	7,673	7,549	8,196	7,509	15.8	-687	91.6	
峡南	2,261	2,402	2,426	2,537	3,005	2,548	2,661	2,664	2,743	2,761	5.8	19	100.7	
峡北	3,894	4,465	5,782	6,297	6,701	6,767	7,267	7,218	7,550	6,966	14.7	-584	92.3	
富士・東部	14,277	15,038	14,713	16,045	15,830	17,291	16,290	16,635	17,248	17,430	36.7	182	101.1	
自然	10,195	11,545	10,595	11,208	11,051	11,889	10,852	11,313	11,824	11,788	24.8	-36	99.7	
文化・歴史	5,389	5,693	6,252	6,944	6,893	6,871	6,937	7,040	9,758	9,910	20.9	152	101.6	
産業観光	4,012	3,780	3,893	3,545	3,834	4,860	4,161	3,805	3,660	3,131	6.6	-528	85.6	
スポーツ・レク	5,399	5,606	5,741	6,374	6,464	5,617	6,417	6,995	7,191	6,858	14.4	-333	95.4	
温泉	4,742	4,425	4,908	5,319	5,369	5,384	6,164	6,530	6,998	7,000	14.7	1	100.0	
買い物	1,295	2,011	3,142	3,321	3,742	4,564	4,728	5,518	5,767	5,844	12.3	76	101.3	
イベント	1,051	851	835	665	585	878	812	598	532	495	1.0	-37	93.0	
イベント	1,956	2,387	2,544	2,732	2,557	2,604	2,778	2,240	2,556	2,504	5.3	-53	97.9	
観光消費総額(億円)	2,848	3,054	3,105	3,219	3,542	3,775	3,739	3,939	4,461	4,219	-	279	94.6	
(1人当たり観光消費額(円))	(8,366)	(8,412)	(8,190)	(8,025)	(8,716)	(8,848)	(8,727)	(8,945)	(9,239)	(8,876)	-	(-69)	96.1	

(注：圏域別人数については、平成 11 年～17 年は旧圏域分類、平成 18 年以降は新圏域分類による)

(1) 平成 20 年観光客数

- ①観光客実人数 4,753 万人 (対前年比 98.4%)
- ②平均訪問観光地点数 1.45 地点 (県外客 1.52 地点、県内客 1.26 地点)

(2) 平成 20 年宿泊客数

- ①宿泊客実人数 631 万人 (対前年比 99.7%)
- ②平均宿泊数 1.36 泊 (県外客 1.36 泊、県内客 1.22 泊)

(3) 平成 20 年日帰り客数

(「日帰り客数」 = 「観光客数」 - 「宿泊客数」)

- 日帰り観光客実人数 4,122 万人 (対前年比 98.2%)

(4) 平成 20 年居住地別観光客実人数

- ①県外客実人数 3,175 万人 (対前年比 98.6%)
- ②県内客実人数 1,578 万人 (対前年比 98.0%)

(5) 平成 20 年観光消費額

- ①観光消費総額 4,321 億円 (対前年比 96.9%)
- ②1人当たり平均消費額 9,092 円 (対前年比 98.4%)

(6) 平成20年本県観光の概要

① 動態動向

平成20年の山梨県における観光客数は、実人数で4,753万人となり、平成18年の4,829万人と比べ76万人(1.6%)減少した。

5圏域別では、富士・東部が1,743万人で最も多く、県内全体の36.7%を占めている。次いで峡中が1,286万人(27.1%)、峡東が751万人(15.8%)、峡北が697万人(14.7%)、峡南が276万人(5.8%)となっている。前年との比較で観光客数が増加したのは峡中(+2.5%)、富士・東部(+1.1%)、峡南(+0.7%)で、峡東(-8.4%)及び峡北(-7.7%)は前年を下回った。

平成19年は、NHKの大河ドラマ「風林火山」の放映により、武田氏ゆかりの施設を中心に観光客が大きく増加したが、放映終了から時間を経るに従い、特に峡東圏域や峡北圏域の関連施設を中心に客足が落ちた。また、期間後半には世界的な経済不況に陥り、遠出や観光消費を抑える傾向が目立った。

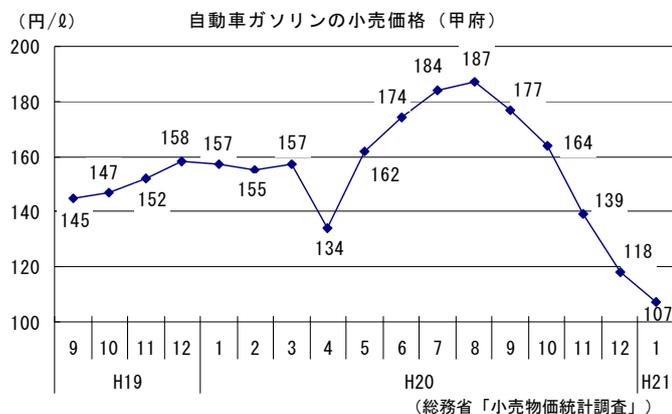
一方、4月から6月にかけて実施された「山梨デスティネーションキャンペーン」では、鉄道駅を起点としたハイキングなどの企画イベントや臨時バスの運行などが実施され、天候の安定した4月・5月を中心に賑わいをみせた。特に、新たに始まった本栖湖畔の「富士芝桜まつり」は、首都圏等へのPR効果と相まって、開催期間中30万人以上の来客があった。

また、梅雨明けが送れた昨年比に比べ、山岳地域への客足が増加し、特に世界遺産への登録機運の盛り上がりに加え、山小屋環境の改善が進んだ富士山では、7月から8月の登山シーズン中に吉田口だけで8合目以上に17万人余りが、また6合目以上では25万人近くもの登山者があった。

月別にみると、8月が721万人で最も多く、年間の15.2%を占めている。次いで11月が467万人(9.8%)、10月が439万人(9.2%)などと続く。最も少ない月は12月の240万人(5.0%)であった(図表9-2)。

期間前半はデスティネーションキャンペーンなどにより増加したものの、最も集客の多い夏季にはガソリン価格が高値で推移し、自動車での来訪が多い本県観光に大きな影響があったものとみられる。

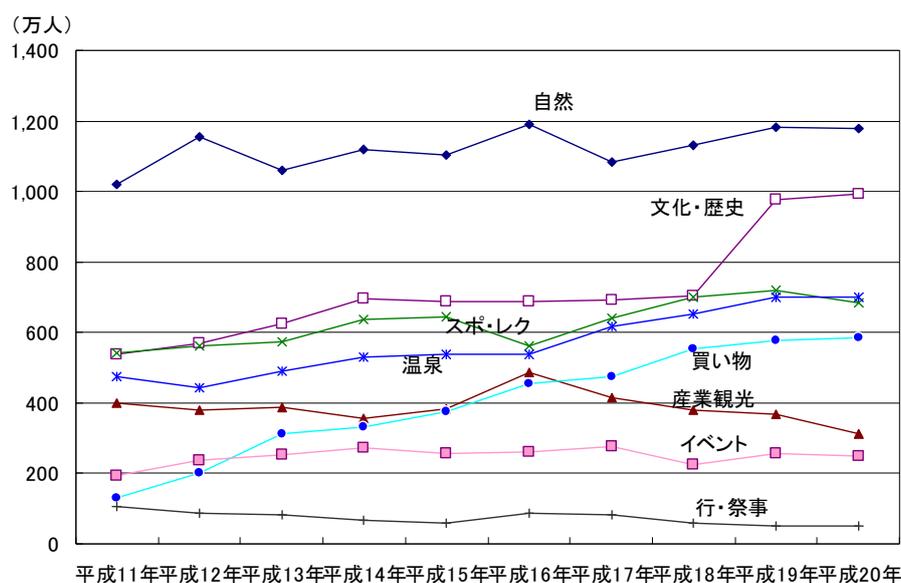
参考図表1 ガソリン小売価格の推移



観光の目的を分類別の割合で比較すると、「自然」が1,179万人(24.8%)で最も多く、次いで「文化・歴史」が991万人(20.9%)、「温泉」700万人(14.7%)、「スポーツ・レクリエーション」686万人(14.4%)、「買い物」584万人(12.3%)などが続いている。

「自然」や「文化・歴史」はほぼ横這い、前年3位であった「スポーツ・レクリエーション」が微減となり、増加を続けている「温泉」が代わって3位となった。

図表7 目的別観光客実人数の推移



平成20年の宿泊客実人数は631万人で、前年の633万人より2万人(0.3%)の減少となった(図表10)。

旅館・ホテルが減少した一方で、民営宿泊施設や公営宿泊施設などが増加し、景気の低迷を受け、手頃な料金の宿泊施設の利用が伸びたことがうかがえる。

②月別の概要

■1月

1月の山梨県は、冬型の気圧配置となり晴れた日が多かったが、本州南岸の低気圧の通過や前線の影響で曇りや雨または雪となる日もあり、後半には甲府などでも積雪を記録した。月平均気温平年並みで、月降水量は平年より少なかったが、月間日照時間も峡南を中心に平年より少ない地点が多かった。

大河ドラマの放映は終了したものの、年が変わってからも堅調な入り込みが続き、1月の観光客は、前年同期よりも23万人(8.3%)多い295万人であった。また、宿泊客は、前年同期より3万人(10.3%)増の34万人となった。

■2月

2月の山梨県は、前半は本州南岸の低気圧の通過や前線の影響で曇りや雪や雨となる日があり、特に3日と9日には大雪となり、9日には甲府で14cm、河口湖で35cmの最深積雪を観測した。中旬以降は冬型の気圧配置となる日が多く、晴れた日が多くなったが、冬型の気圧配置が強まり、県内各地で強風となる日もあった。月平均気温は平年より低く、特に峡北、峡東、富士五湖では平年よりかなり低かった。月降水量は峡北・峡東で多く、逆に東部は少なかった。

雪や寒さの影響で、スキー場などでは人出が増えたものの、全般には客足が鈍った施設が多かったことから、2月の観光客は、前年よりも12万人(4.8%)少ない242万人であった。また宿泊客は、前年より0.2万人(0.6%)減の32万人であった。

■3月

3月の山梨県は、移動性高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、月平均気温は多くの地点で平年よりもかなり高くなった。その影響で甲府では平年に比べ5日早い24日に桜の開花を観測し、28日には平年に比べ7日早く満開となった。また、降水量は少なく、峡北では平年よりもかなり少なかった。逆に月間日照時間は平年の109～130%とほとんどの地点で多かった。

比較的天候に恵まれたことや、プレ・デスティネーションキャンペーンなどの効果により3月の観光客は前年同期よりも15万人(5.0%)多い315万人となった。一方、宿泊客は前年同期に比べ0.6万人(1.4%)減の46万人であった。

■4月

4月の山梨県は、低気圧や前線が日本の南海上を通過することが多かったため、曇りや雨の日が多くなりました。特に上旬から下旬にかけては低気圧の影響で大雨を記録した。下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、気温も高くなった。月平均気温は平年に比べてやや高く、月降水量は全ての観測所で平年より多くなり、特に東部では月降水量

の多い値の極値を更新した。月間日照時間も富士・東部を中心に平年をやや下回った。

DESTINATIONキャンペーンが始まり、またガソリン税の暫定税率が廃しされたことで一時的にガソリンの小売価格が下落したこともあり、4月の観光客は前年よりも8万人(2.4%)多い393万人となった。一方、宿泊客は、前年より1万人(2.6%)減の45万人であった。

■5月

5月の山梨県は、上旬末から中旬と下旬後半に強い寒気が南下するなど、気温の変動が大きくなった。数日の周期で低気圧が日本付近を通過し、日本の南海上や本州南岸を進むことが多かったため、月降水量は平年の158~235%で、全ての観測所で平年よりかなり多く、特に、東部や峡南で月降水量の多い値の極値を更新する箇所があった。月間日照時間は平年の82~100%で、ほとんどの地点で平年より少なかった。月平均気温はほぼ平年並みであった。

天候には恵まれなかったものの、5月の観光客は、前年よりも25万人(5.7%)多い458万人であった。また宿泊客は、前年より3万人(5.0%)増の60万人となった。

■6月

6月の山梨県は、平年よりも6日、昨年よりも20日ほど早く梅雨入りした。上旬、下旬を中心に、本州南海上の梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、特に22日は梅雨前線の活動が活発となり大雨となった。月平均気温は平年よりも低めで、月降水量は峡中、峡北を中心に平年よりもかなり多くなった。その分、月日照時間も平年の68~95%と少なかった。

6月の観光客は、天候に恵まれた前年に比べ30万人(7.8%)少ない350万人であった。また宿泊客も、前年より1万人(3.3%)減の42万人となった。

■7月

7月の山梨県は、上空の寒気の影響で局地的な雷雨の日があったものの、まとまった雨の降る日が少なく、晴れや薄曇の日が多かった。また、梅雨前線の活動が平年に比べ弱く太平洋高気圧の日本付近への張り出しが強かったため、平年より1日早く、また昨年より23日早い19日頃梅雨明けとなりました。月平均気温は平年より高く、特に23日~26日にかけて気温が特に高く、甲府では4日連続で熱帯夜を記録した。月降水量は梅雨前線の活動が弱かったため、平年の28~75%で、大月で平年並となった他は平年より少なく、特に、峡南や富士北麓地域では平年よりかなり少なかった。月間日照時間は平年より多く、特に、甲府、勝沼では平年よりかなり多かった。

7月の観光客は、前年からほぼ横這いの418万人であった。一方宿泊客は、前年より5万人(7.3%)増の68万人となった。

■8月

8月の山梨県は、前半は太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多かったが、大気の状態が不安定となり雷雨となった日がたびたびあった。特に、上旬には県内の広い地域で雷を伴う激しい雨となり、各地で大規模な停電が発生した。月の後半は、曇や雨の日が多く、天気のごずついた日があり、まとまった雨の日もあった。月平均気温の平年差は+0.2～-0.7℃で韮崎、大月で平年より低くなった他は、平年並であった。月降水量は月の初めと終わりに前線や上空の寒気などの影響で雨となり、平年の85～178%で、峡北や峡南、富士・東部で平年より多くなった。その分、月間日照時間は平年の81～98%と、やや少なくなった。

8月の観光客は、前年よりも33万人(4.4%)少ない721万人であった。また宿泊客は、前年より3万人(2.7%)減の121万人となった。

■9月

9月の山梨県は、前半は太平洋高気圧に覆われ晴れて気温の高い日が多く厳しい残暑となったが、後半は前線や台風の影響で曇や雨の日が多く、天気のごずついた日があった。特に月末には秋雨前線が南下し、日中の気温が上がらず、11月上～中旬並みの気温となった。月平均気温の平年差は+0.6～-0.4℃で韮崎では平年より低くなった。月降水量は、月の後半に前線や台風の影響で雨となったものの、平年の40～81%で平年より少なく、南部では平年よりかなり少なかった。月間日照時間は平年の101～115%となり、大泉、勝沼、山中で平年より多くなった。

9月の観光客は、前年よりも49万人(10.6%)少ない417万人であった。また宿泊客は、前年より3万人(5.1%)減の54万人となった。

■10月

10月の山梨県は上旬と下旬は周期的に天気が変わり、中旬は移動性高気圧に覆われて晴れの日が多かった。月平均気温の平年差は+0.2～+0.9℃で、韮崎で平年並となった他は平年より高くなった。月降水量は平年の35～59%で、切石で平年並となった他は平年より少なく、特に大泉、日向山では平年よりかなり少なくなった。月間日照時間は平年の100～110%となり、甲府、切石で平年より多くなった他は、平年並であった。

10月の観光客は、比較的天候には恵まれたものの、前年よりも28万人(6.1%)少ない439万人であった。また宿泊客は、前年より2万人(3.5%)減の49万人となった。

■11月

11月の山梨県の天気は、概ね周期的に変化した。中旬に気圧の谷が通過した後、強い寒気が入り、甲府では14日に初霜(平年11月1日)、19日に初氷(平年11月7日)を

観測した。月平均気温の平年差は $0.0\sim-0.7^{\circ}\text{C}$ で、平年並か、平年より低くなった。月降水量は平年の $46\sim75\%$ で、特に上旬から中旬にかけて降水量が少なかった。月間日照時間は平年の $84\sim97\%$ となり、古関、河口湖、切石、南部で平年並となった他は、平年より少なく、特に大泉では平年よりかなり少なかった。

11月の観光客は、前年よりも4万人(0.8%)多い467万人であった。また宿泊客は、前年より1万人(1.7%)増の48万人となった。

■12月

12月の山梨県は、低気圧や高気圧が交互に日本付近を通過し、冬型の気圧配置は一時的で、天気は周期的に変化した。月平均気温の平年差は $+0.3\sim1.5^{\circ}\text{C}$ で、韮崎で平年並であったほかは、各地とも平年より高い、あるいはかなり高くなった。月降水量は平年の $144\sim272\%$ で、特に甲府、勝沼、古関では平年よりかなり多くなった。月間日照時間は平年の $93\sim106\%$ となり、全観測所で平年並であった。

12月の観光客は、前年に比べ4万人(1.5%)多い240万人であった。一方宿泊客は、前年より2万人(5.6%)減の34万人となった。

(資料：甲府地方気象台「山梨県の気象・地震概況」)

7. 調査結果

(1) 平成20年観光客数

平成20年1月～12月までの観光客数(実人数)は4,753万人となり、前年の4,829万人と比べて76万人の減少となった。

図表9 平成20年 観光客月別一覽表(実人数)

(単位:人)

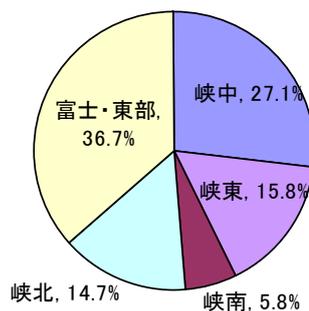
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計	(H19)	対前年比
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺 192,495	128,253	189,034	260,312	412,952	241,130	209,808	404,663	274,412	490,046	852,740	199,721	3,855,566	3,972,937	97.0%
	芸術の森・武田神社周辺 473,048	476,613	565,343	559,065	800,035	414,151	456,802	931,391	574,036	591,745	699,108	328,763	6,870,100	6,538,085	105.1%
	広河原・芦安温泉周辺 529	243	323	840	3,222	43,302	71,658	78,514	52,332	57,856	1,529	530	310,878	302,506	102.8%
	楯形山・果実郷周辺 23,665	24,086	27,044	30,916	38,655	80,564	38,664	38,807	34,222	36,996	38,837	30,449	442,905	339,041	130.6%
	釜無川沿岸 48,552	153,327	52,491	94,565	65,312	80,212	57,082	77,788	61,488	101,366	71,836	46,014	910,033	906,208	100.4%
	風土記の丘周辺 29,171	28,183	35,744	40,859	51,945	59,221	38,790	44,285	43,511	40,394	35,949	26,069	474,121	492,348	96.3%
	小計 767,460	810,705	869,979	986,557	1,372,121	918,580	872,804	1,575,448	1,040,001	1,318,403	1,699,999	631,546	12,863,603	12,551,125	102.5%
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺 35,782	51,074	84,390	120,129	92,574	72,221	38,027	40,512	60,272	45,445	52,065	25,570	718,061	1,035,184	69.4%
	勝沼ぶどう郷周辺 56,006	49,960	70,696	104,349	92,420	97,769	134,544	346,169	326,348	205,460	116,600	59,953	1,660,274	1,657,386	100.2%
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺 75,991	68,090	121,213	135,437	135,720	216,568	119,695	182,775	182,033	198,758	170,793	76,787	1,683,860	1,825,057	92.3%
	石和温泉・果実郷周辺 241,880	182,222	216,509	434,600	225,693	212,366	284,743	562,190	380,083	291,816	244,118	170,127	3,446,347	3,677,981	93.7%
	小計 409,659	351,346	492,808	794,515	546,407	598,924	577,009	1,131,646	948,736	741,479	583,576	332,437	7,508,542	8,195,608	91.6%
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺 120,175	56,392	140,843	276,639	156,047	117,004	97,658	104,533	74,673	125,507	152,793	87,137	1,509,401	1,492,815	101.1%
	早川周辺 1,281	964	1,686	2,111	13,161	7,310	17,529	20,270	10,514	10,582	6,445	1,955	93,808	85,015	110.3%
	峡南北部 47,448	41,370	50,871	71,647	51,897	51,453	49,689	200,089	46,855	48,660	79,061	42,603	781,643	739,522	105.7%
	峡南南部 19,304	15,521	41,328	64,326	24,900	25,731	20,613	76,065	21,267	182,033	27,406	18,703	376,647	425,175	88.6%
	小計 188,208	114,247	234,728	414,723	246,005	201,498	185,489	400,957	153,309	206,232	265,705	150,398	2,761,499	2,742,527	100.7%
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺 312,127	223,817	318,679	356,839	500,627	404,053	518,531	816,431	460,295	486,153	401,693	306,758	5,106,003	5,378,572	94.9%
	金峰・みずがき周辺 9,226	7,193	12,288	20,744	35,949	27,978	25,540	34,074	24,498	33,716	29,772	7,807	268,785	303,428	88.6%
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺 52,235	53,057	69,761	133,084	107,573	79,934	113,738	181,329	93,180	134,399	140,227	60,892	1,219,409	1,412,649	86.3%
	茅ヶ岳周辺 8,706	8,866	11,021	17,215	28,862	41,963	41,318	134,273	16,166	16,067	24,001	23,113	371,571	455,478	81.6%
	小計 382,294	292,933	411,749	527,882	673,011	553,928	699,127	1,166,107	594,139	670,335	595,693	398,570	6,965,768	7,550,127	92.3%
富士・東部圏域	富士山五合目 33,758	18,187	57,436	152,325	176,312	138,298	429,608	496,341	212,778	233,861	141,522	50,505	2,140,931	2,008,409	106.6%
	富士吉田・河口湖・三つ峠周辺 628,159	447,230	483,313	426,870	508,485	484,343	574,662	1,149,352	444,131	485,367	549,963	262,265	6,444,140	6,393,117	100.8%
	本栖湖・精進湖・西湖周辺 215,584	164,314	199,747	203,263	506,603	196,664	332,215	528,355	282,593	255,237	293,256	200,028	3,377,859	3,188,573	105.9%
	山中湖・忍野周辺 230,333	160,862	270,240	264,724	334,898	249,695	305,496	481,633	285,298	287,164	308,563	261,408	3,440,314	3,564,707	96.5%
	大月・北都留 39,559	27,070	47,887	62,424	84,047	70,458	68,493	98,831	73,036	68,400	103,584	62,669	786,358	798,150	98.5%
	桂川・道志川周辺 53,406	37,328	81,337	95,472	128,073	84,850	131,032	183,857	132,108	118,739	127,438	46,573	1,240,113	1,294,671	95.8%
	小計 1,200,799	854,991	1,139,960	1,205,078	1,738,418	1,224,308	1,841,506	2,938,369	1,429,944	1,448,768	1,524,326	883,248	17,429,715	17,247,627	101.1%
	合計 2,948,420	2,424,222	3,149,224	3,928,755	4,575,962	3,497,238	4,175,935	7,212,527	4,166,129	4,385,217	4,669,299	2,396,199	47,529,127	48,287,014	98.4%
	月別構成比	6.2%	5.1%	8.3%	9.6%	7.4%	8.8%	15.2%	8.8%	9.2%	9.8%	5.0%	98.4%		
(H19年)	2,722,421	2,545,509	2,999,019	3,846,167	4,328,067	3,794,988	4,186,386	7,545,411	4,658,253	4,688,656	4,631,974	2,360,163	48,287,014		
対前年比	108.3%	95.2%	105.0%	102.1%	105.7%	92.2%	99.8%	95.6%	89.4%	93.9%	100.8%	101.5%	98.4%		

参考図表2 平成20年 観光客月別一覧表 (延べ人数)

	(単位:人)												対前年比			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		年合計	(H19年)	
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	276,168	184,001	271,202	373,464	592,453	345,943	301,006	580,560	393,693	703,057	1,223,407	286,535	5,531,489	5,690,141	97.2%
	去術の森・武田神社周辺	678,671	683,785	811,084	802,077	1,147,792	594,173	655,363	1,336,245	823,556	848,963	1,002,994	471,668	9,856,371	12,019,160	82.0%
	広河原・芦安温泉周辺	759	348	463	1,205	4,622	62,124	102,806	112,642	75,079	83,005	2,194	761	446,008	433,258	102.9%
	櫛形山・果実郷周辺	33,951	34,555	38,799	44,355	55,458	115,584	55,471	55,675	49,097	53,077	55,719	43,684	635,425	485,582	130.9%
	釜無川沿岸	69,656	219,975	75,307	135,670	93,701	115,079	81,894	111,601	88,216	145,428	103,061	66,015	1,305,603	1,297,892	100.6%
風土記の丘周辺	41,851	40,434	51,281	58,619	74,525	84,963	55,651	63,535	62,424	57,952	51,575	37,401	680,211	705,153	96.5%	
	小計	1,101,056	1,163,098	1,248,136	1,415,390	1,968,551	1,317,866	1,252,191	2,260,258	1,492,065	1,891,482	2,438,950	906,064	18,455,107	20,631,188	89.5%
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺	51,336	73,275	121,072	172,347	132,814	103,614	54,556	58,122	86,471	65,199	74,696	36,685	1,030,187	1,553,870	66.3%
	勝沼ぶどう郷周辺	80,350	71,677	101,426	149,707	132,593	140,267	193,027	496,640	468,204	294,769	167,284	86,013	2,381,957	2,373,749	100.3%
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	109,022	97,687	173,902	194,308	194,714	310,705	171,724	262,223	261,158	285,153	245,033	110,164	2,415,793	2,613,892	92.4%
	石和温泉・果実郷周辺	347,019	261,429	310,620	623,510	323,797	304,677	408,515	806,561	545,296	418,662	350,231	244,077	4,944,393	5,267,697	93.9%
	小計	587,727	504,068	707,020	1,139,872	783,918	859,263	827,822	1,623,546	1,361,129	1,063,783	837,244	476,939	10,772,330	11,809,208	91.2%
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺	172,412	80,905	202,064	396,687	223,877	167,863	140,107	149,971	107,132	180,062	219,209	125,013	2,165,502	2,138,047	101.3%
	早川周辺	1,838	1,383	2,419	3,028	18,882	10,487	25,149	29,081	15,084	15,182	9,247	2,805	134,585	121,761	110.5%
	峡南北部	68,072	59,352	72,984	102,791	74,456	73,819	71,288	287,063	67,222	69,812	113,427	61,122	1,121,408	1,059,164	105.9%
	峡南南部	27,695	22,268	59,293	92,287	35,723	36,916	29,573	109,129	30,511	30,821	39,319	26,833	540,368	608,947	88.7%
	小計	270,017	163,908	336,760	594,993	352,938	289,085	266,117	575,244	219,949	295,877	381,202	215,773	3,961,863	3,927,919	100.9%
峡北圏域	八ヶ岳高原周辺	447,802	321,105	457,201	511,949	718,238	579,685	743,925	1,171,314	660,375	697,472	576,300	440,099	7,325,465	7,836,223	93.5%
	金峰・みずがき周辺	13,237	10,319	17,629	29,761	51,575	40,140	36,641	48,885	35,146	48,372	42,713	11,201	385,619	434,576	88.7%
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	74,941	76,120	100,084	190,933	154,332	114,680	163,177	260,148	133,683	192,819	201,181	87,361	1,749,459	2,023,233	86.5%
	茅ヶ岳周辺	12,490	12,720	15,812	24,698	41,407	60,203	59,278	192,639	23,193	23,051	34,433	33,160	533,084	652,345	81.7%
	小計	548,470	420,264	590,726	757,341	965,552	794,708	1,003,021	1,672,986	852,397	961,714	854,627	571,821	9,993,627	10,946,377	91.3%
富士・東部圏域	富士山五合目	48,432	26,093	82,402	218,537	252,951	198,413	616,348	712,089	305,267	335,515	203,038	72,459	3,071,544	2,876,492	106.8%
	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	901,205	641,630	693,398	612,421	729,511	694,876	824,454	1,648,948	637,185	696,345	789,019	376,266	9,245,258	9,156,363	101.0%
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	309,294	235,738	286,572	291,617	726,812	282,150	476,621	788,018	405,429	366,183	420,728	286,976	4,846,138	4,566,753	106.1%
	山中湖・忍野周辺	330,453	230,785	387,707	379,794	480,470	388,231	438,288	690,988	409,310	411,988	442,688	375,036	4,935,738	5,105,465	96.7%
	大月・北都留	56,755	38,837	68,702	89,558	120,580	101,085	98,266	141,791	104,783	98,132	148,610	61,073	1,128,172	1,143,130	98.7%
桂川・道志川周辺	76,620	53,553	116,692	136,971	183,743	121,733	187,989	263,775	189,532	170,352	182,833	95,367	1,779,160	1,854,258	95.9%	
	小計	1,722,759	1,226,636	1,635,473	1,728,698	2,494,067	1,756,488	2,641,966	4,215,609	2,051,506	2,078,515	2,186,916	1,267,177	25,006,010	24,702,481	101.2%
合計	4,230,029	3,477,974	4,518,115	5,636,494	6,565,026	5,017,410	5,991,117	10,347,643	5,977,046	6,291,371	6,698,939	3,437,774	68,188,937	72,017,172	94.7%	
月別構成比	6.2%	5.1%	6.6%	8.3%	9.6%	7.4%	8.8%	15.2%	8.8%	9.2%	9.8%	5.0%	94.7%			
(H19年)	4,011,623	3,794,384	4,502,928	5,759,572	6,512,158	5,706,352	6,213,889	11,186,027	6,955,801	6,920,834	6,941,344	3,512,259	72,017,172			
対前年比	105.4%	91.7%	100.3%	97.9%	100.8%	87.9%	96.4%	92.5%	85.9%	90.9%	96.5%	97.9%	94.7%			

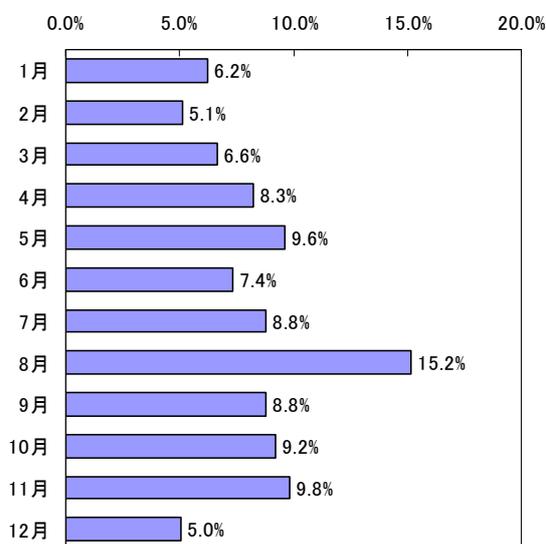
図表 9-1 圏域別観光客の割合

項目	観光客数(人)	構成比(%)
峡中	12,863,603	27.1%
峡東	7,508,542	15.8%
峡南	2,761,499	5.8%
峡北	6,965,768	14.7%
富士・東部	17,429,715	36.7%
合計	47,529,127	100.0%



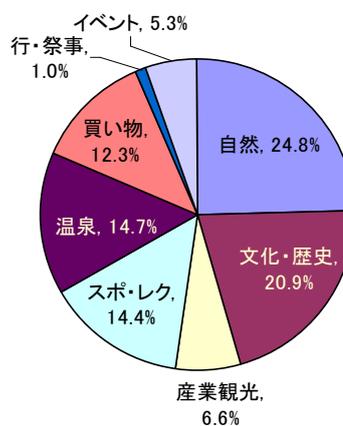
図表 9-2 月別観光客の割合

項目	観光客数(人)	構成比(%)
1月	2,948,420	6.2%
2月	2,424,222	5.1%
3月	3,149,224	6.6%
4月	3,928,755	8.3%
5月	4,575,962	9.6%
6月	3,497,238	7.4%
7月	4,175,935	8.8%
8月	7,212,527	15.2%
9月	4,166,129	8.8%
10月	4,385,217	9.2%
11月	4,669,299	9.8%
12月	2,396,199	5.0%
年合計	47,529,127	100.0%



図表 9-3 観光分類別観光客の割合

項目	観光客数(人)	構成比(%)
自然	11,788,023	24.8%
文化・歴史	9,910,335	20.9%
産業観光	3,131,479	6.6%
スポ・レク	6,857,673	14.4%
温泉	6,999,530	14.7%
買い物	5,843,690	12.3%
行・祭事	494,853	1.0%
イベント	2,503,541	5.3%
合計	47,529,124	100.0%



(注: 実人数の再計算過程で、若干の誤差が生じている)

(2) 平成20年宿泊客数

平成20年1月～12月の宿泊客数は631万人となり、633万人であった前年と比べて2万人(0.3%)減少した。

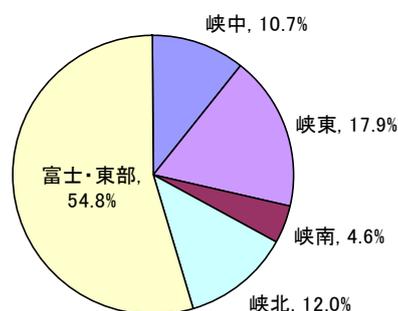
図表10 平成20年 宿泊客月別一覧表(実人数)

(単位:人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	(H19年)	前年比(%)	
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	14,619	11,465	14,977	16,013	15,711	13,629	14,717	24,978	15,319	15,770	21,090	12,874	191,162	190,613	100.3
	芸術の森・武田神社周辺	24,966	24,845	33,581	31,639	30,409	23,287	29,675	37,731	27,686	30,180	29,368	25,735	349,102	349,923	99.8
	広河原・芦安温泉周辺	931	627	980	1,429	1,514	1,621	9,285	13,253	5,106	3,574	1,347	595	40,262	34,950	115.2
	楢形山・果実郷周辺	1,384	2,682	2,213	1,693	2,389	1,869	3,232	5,605	2,223	2,160	3,230	1,464	30,144	30,177	99.9
	釜無川沿岸	3,907	4,818	5,497	5,401	4,392	4,393	4,825	7,018	4,687	5,042	5,385	4,861	60,226	62,842	95.8
	風土記の丘周辺	275	205	383	313	588	284	607	1,283	567	352	320	250	5,407	4,859	111.3
	小計	46,082	44,642	57,631	56,488	54,983	45,083	62,341	89,868	55,588	57,078	60,740	45,779	676,303	673,384	100.4
	大菩薩・恵林寺周辺	2,859	2,251	2,775	3,042	3,748	2,843	4,020	4,875	3,075	3,690	3,713	2,515	39,406	46,844	84.1
	勝沼ぶどう郷周辺	912	787	1,639	1,955	3,627	1,798	2,441	5,295	2,837	2,312	2,035	1,155	26,793	28,703	93.3
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	5,324	5,652	7,058	7,520	7,152	5,513	8,156	11,491	7,649	7,937	8,498	6,460	88,410	96,350	91.8
峡東圏域	石和温泉・果実郷周辺	69,405	72,306	79,711	76,822	71,683	70,646	80,646	117,959	75,904	85,368	95,413	79,626	975,489	996,099	97.9
	小計	78,500	80,996	91,183	89,339	86,210	80,800	95,263	139,620	89,485	99,307	109,659	89,756	1,130,098	1,167,996	96.8
	身延山・下部温泉周辺	9,755	10,303	13,323	13,892	16,297	16,092	16,801	22,529	14,841	14,118	17,104	11,282	176,137	175,369	100.4
	早川周辺	5,254	4,552	3,597	4,316	6,756	4,955	7,090	10,548	6,300	7,447	8,066	4,086	72,967	81,788	89.2
	峡南北部	932	1,091	1,070	1,397	1,865	1,039	2,377	5,156	1,895	1,501	2,947	1,084	22,354	22,241	100.5
	峡南南部	633	923	1,337	596	1,038	581	1,510	5,424	1,393	1,246	1,147	934	16,762	19,224	87.2
	小計	16,574	16,869	19,327	20,201	25,956	22,667	27,578	43,657	24,429	24,312	29,264	17,386	288,220	298,622	96.5
	八ヶ岳高原周辺	23,796	23,084	28,499	32,288	58,262	46,673	64,149	141,579	53,642	45,220	37,118	21,664	575,974	585,021	98.5
	金峰・みずがき周辺	3,710	2,994	4,779	6,420	7,755	7,028	8,334	13,092	7,375	8,381	7,834	3,815	81,517	82,701	98.6
	峡北圏域	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	2,719	2,255	3,373	3,821	8,403	4,488	14,632	25,651	8,377	7,049	6,077	4,345	91,190	100,707
茅ヶ岳周辺		342	210	261	443	1,006	549	1,158	3,720	1,051	1,086	809	367	11,002	11,768	93.5
小計		30,567	28,543	36,912	42,972	75,426	58,738	88,273	184,042	70,445	61,736	51,838	30,191	759,683	780,197	97.4
富士山・河口湖・三つ峠周辺		117,703	105,795	172,894	149,145	174,186	124,949	212,178	331,988	167,468	140,634	147,173	103,492	1,947,605	1,843,337	105.7
本栖湖・精進湖・西湖周辺		15,386	16,847	27,245	27,318	51,231	25,990	59,541	109,415	48,568	19,254	20,415	14,666	435,876	445,133	97.9
山中湖・忍野周辺		29,367	19,717	39,090	55,492	99,308	43,245	98,533	242,988	66,737	55,003	50,928	27,316	827,724	859,568	96.3
大月・北都留		3,978	5,534	6,383	5,123	12,248	6,495	15,619	25,098	5,643	5,349	5,614	3,482	100,566	109,774	91.6
桂川・道志川周辺		4,796	4,581	5,364	6,253	20,080	7,987	19,764	43,611	13,498	9,654	6,628	5,582	147,798	155,965	94.8
小計		171,230	152,474	250,976	243,331	357,053	208,666	405,635	753,100	301,914	229,894	230,758	154,538	3,459,569	3,413,777	101.3
合計		342,953	323,524	456,029	452,331	599,628	415,954	679,090	1,210,287	541,841	472,327	482,259	337,650	6,313,873	6,333,956	99.7
月別構成比(%)	5.4	5.1	7.2	7.2	9.5	6.6	10.8	19.2	8.6	7.5	7.6	5.3	100.0			
(H19年)	310,879	325,483	462,478	464,472	570,918	430,028	633,120	1,243,962	571,227	489,442	474,111	357,836	6,333,956			
前年比(%)	110.3	99.4	98.6	97.4	105.0	96.7	107.3	97.3	94.9	96.5	101.7	94.4	99.7			

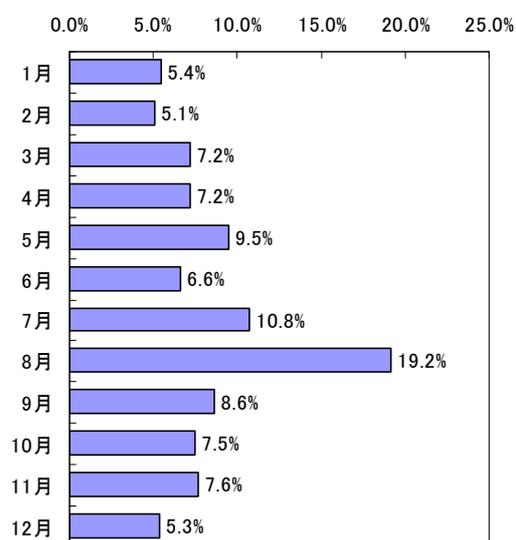
図表 10-1 圏域別宿泊客の割合

圏域名	宿泊客数(人)	構成比(%)
峡中	676,303	10.7%
峡東	1,130,098	17.9%
峡南	288,220	4.6%
峡北	759,683	12.0%
富士・東部	3,459,569	54.8%
合計	6,313,873	100.0%



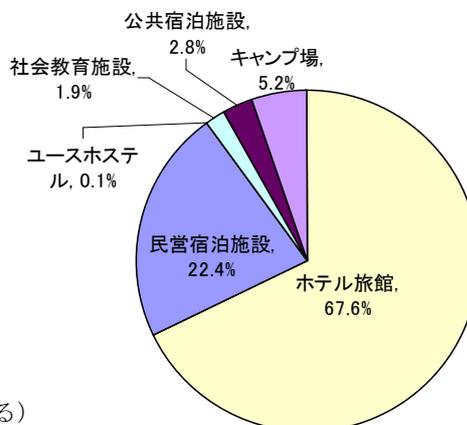
図表 10-2 月別宿泊客の割合

項目	宿泊客数(人)	構成比(%)
1月	342,953	5.4%
2月	323,524	5.1%
3月	456,029	7.2%
4月	452,331	7.2%
5月	599,628	9.5%
6月	415,954	6.6%
7月	679,090	10.8%
8月	1,210,287	19.2%
9月	541,841	8.6%
10月	472,327	7.5%
11月	482,259	7.6%
12月	337,650	5.3%
年合計	6,313,873	100.0%



図表 10-3 宿泊施設別宿泊客の割合

分類名	宿泊客数(人)	構成比(%)
ホテル旅館	4,270,891	67.6%
民営宿泊施設	1,412,077	22.4%
ユースホステル	5,651	0.1%
社会教育施設	121,865	1.9%
公共宿泊施設	174,325	2.8%
キャンプ場	329,055	5.2%
合計	6,313,864	100.0%



(注：実人数の再計算過程で、若干の誤差が生じている)

(3) 圏域別観光客数及び宿泊客数

① 峡中圏域

図表 11 峡中圏域 観光客実人数及び宿泊客実人数

峡中圏域		観光客実人数	宿泊客実人数
昇仙峡・湯村温泉周辺	H20	3,855,566	191,162
	H19	3,972,937	190,613
	対前年比	97.0	100.3
芸術の森・武田神社周辺	H20	6,870,100	349,102
	H19	6,538,085	349,923
	対前年比	105.1	99.8
広河原・芦安温泉周辺	H20	310,878	40,262
	H19	302,506	34,950
	対前年比	102.8	115.2
櫛形山・果実郷周辺	H20	442,905	30,144
	H19	339,041	30,177
	対前年比	130.6	99.9
釜無川沿岸	H20	910,033	60,226
	H19	906,208	62,842
	対前年比	100.4	95.8
風土記の丘周辺	H20	474,121	5,407
	H19	492,348	4,859
	対前年比	96.3	111.3
小計	H20	12,863,603	676,303
	H19	12,551,125	673,364
	対前年比	102.5	100.4

平成 20 年の観光客の実人数は 1,286 万人で、前年より 2.5%増加した。

圏域で最も観光客数が多い地域は「芸術の森・武田神社周辺」、次いで「昇仙峡・湯村温泉周辺」、「釜無川沿岸」などとなっている。前年比でみると、「櫛形山・果実郷周辺」が 30.6%増、「芸術の森・武田神社周辺」が 5.1%などと増加した。一方で、「風土記の丘」が 3.7%減、「昇仙峡・湯村温泉周辺」が 3.0%減少した。

また、宿泊客実人数は 68 万人で、前年より 0.4%増加した。

「昇仙峡・湯村温泉周辺」では、公共温泉などで客数の増加がみられたものの、昇仙峡への観光客が減少したことなどにより、観光客実人数は 3.0%の減少となった。一方、宿泊者数は 0.3%の増加となった。

「芸術の森・武田神社周辺」では大河ドラマの影響によって、昨年入り込みが大きく増加した武田神社や甲斐善光寺などの武田氏ゆかりの施設では、延べ人数は大きく減少したものの、開館 30 周年記念特別展の開催などにより県立美術館の入館者が増加するなど、実人数では 5.1%の増加となった。

一方、宿泊者数は0.2%の減少となった。

「広河原・芦安温泉周辺」の観光客数は、天候にも恵まれ、昨年のような土砂崩落による林道の長期間の通行止めなどがなかったことから、観光客実人数は2.8%増加した。

また、昨年大きく落ち込んだ宿泊客も15.2%の増加となった。

「櫛形山・果実郷周辺」では、農産物加工・販売施設などで昨年から引き続き利用者が大きく増加し、全体として30.6%の大幅な増加となった。

また、宿泊客はほぼ横ばいであった。

「釜無川沿岸」の観光客数は、ワイナリーなどの大規模集客施設の客数が減少した一方、農産物直売所やイベント、公園などの利用者が増加したことなどから、全体としては0.4%の微増となった。

一方、宿泊は4.2%の減少となった。

「風土記の丘周辺」の観光客数は全体では道の駅などで増加もみられたが、昨年大規模な特別展が実施された県立考古博物館などで大きく客数が減じたことから、3.7%の減少となった。

一方、宿泊客数は11.3%増加した。

② 峡東圏域

図表 12 峡東圏域 観光客実人数及び宿泊客実人数

峡東圏域		観光客実人数	宿泊客実人数
大菩薩・恵林寺周辺	H20	718,061	39,406
	H19	1,035,184	46,844
	対前年比	69.4	84.1
勝沼ぶどう郷周辺	H20	1,660,274	26,793
	H19	1,657,386	28,703
	対前年比	100.2	93.3
西沢渓谷・フルーツ公園周辺	H20	1,683,860	88,410
	H19	1,825,057	96,350
	対前年比	92.3	91.8
石和温泉・果実郷周辺	H20	3,446,347	975,489
	H19	3,677,981	996,099
	対前年比	93.7	97.9
小計	H20	7,508,542	1,130,098
	H19	8,195,608	1,167,996
	対前年比	91.6	96.8

峡東圏域の平成 20 年の観光客の実人数は 751 万人で、前年と比べ 8.4%減少した。観光客数が最も多いのは「石和温泉・果実郷周辺」で、前年比で増加したのは「勝沼ぶどう郷周辺」(0.2%増)のみであった。

また、宿泊客実人数は 113 万人で、前年よりも 3.2%減少した。

「大菩薩・恵林寺周辺」では、昨年大河ドラマの影響によって大幅に客数が増加した恵林寺及びその周辺において集客が落ち込み、全体として 30.6%減と、全県の集計エリアの中でも最も大きい減少率となった(ただし、平成 18 年の観光客数は上回っている)。

また宿泊客数も、前年から 15.9%増加した。

「勝沼ぶどう郷周辺」の観光客数は、DCなどのイベントやワインブームなどによってワイナリーを訪れる人が増加したことなどから、全体に風林火山の反動で客足が減少した峡東圏域にあって、0.2%とわずかながらも増加した。

一方、宿泊は 6.7%の減少となった。

「西沢渓谷・フルーツ公園周辺」の観光客数は、大規模公園などで増加もみられたものの、温泉客や道の駅などの利用者が減少し、全体でも前年比 7.7%の減少となった。

また、宿泊客数も 8.2%減少した。

「石和温泉・果実郷周辺」の観光客数は、ゴルフ場やスキー場、一部の公共温泉などで客数が増加したものの、集客のメインである温泉利用者が全体に低迷するなどにより、全体として6.3%減少した。

また、宿泊客数も2.1%減少となった。

③ 峡南圏域

図表 13 峡南圏域 観光客実人数及び宿泊客実人数

峡南圏域		観光客実人数	宿泊客実人数
身延山・下部温泉周辺	H20	1,509,401	176,137
	H19	1,492,815	175,369
	対前年比	101.1	100.4
早川周辺	H20	93,808	72,967
	H19	85,015	81,788
	対前年比	110.3	89.2
峡南北部	H20	781,643	22,354
	H19	739,522	22,241
	対前年比	105.7	100.5
峡南南部	H20	376,647	16,762
	H19	425,175	19,224
	対前年比	88.6	87.2
小計	H20	2,761,499	288,220
	H19	2,742,527	298,622
	対前年比	100.7	96.5

平成 20 年の峡南圏域の観光客実人数は 276 万人で、前年と比べ 0.7%増加した。
圏域内で観光客数が最も多いのは「身延山・下部温泉周辺」で、前年比で増加率が最も高いのは「早川周辺」（10.3%増）であった。

「身延山・下部温泉周辺」の観光客数は、温泉客が減少したものの、本地域で最大の集客施設である久遠寺の参拝客が五重塔の再建などによって増加したことなどにより、1.1%の増加となった。

また、宿泊客数は 0.4%の増加となった。

「早川周辺」では、夏の観光シーズンに比較的天候に恵まれたことから、南アルプスへの登山者や温泉利用客が増加し、観光客数は 10.3%増加した。

一方、宿泊者数は 10.8%の減少となった。

「峡南北部」の観光客数は、地域最大のイベントである神明の花火が第 20 回の記念大会であったこと、また DC など県や JR とのキャンペーン効果によって公共温泉の利用者が増加したことなどにより、全体で 5.7%増加した。

また、宿泊客数は 0.5%の微増であった。

「峡南南部」の観光客数は、温泉利用者の主体である静岡県中部地区に新しい温泉施設ができたことやガソリン価格の高値等により当地域の温泉や道の駅利用者が減

少したことなどから、全体として 11.4%の減少となった。

また、宿泊客数は 12.8%減少した。

④ 峡北圏域

図表 14 峡北圏域 観光客実人数及び宿泊客実人数

峡北圏域		観光客実人数	宿泊客実人数
八ヶ岳高原周辺	H20	5,106,003	575,974
	H19	5,378,572	585,021
	対前年比	94.9	98.5
金峰・みずがき周辺	H20	268,785	81,517
	H19	303,428	82,701
	対前年比	88.6	98.6
甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	H20	1,219,409	91,190
	H19	1,412,649	100,707
	対前年比	86.3	90.5
茅ヶ岳周辺	H20	371,571	11,002
	H19	455,478	11,768
	対前年比	81.6	93.5
小計	H20	6,965,768	759,683
	H19	7,550,127	780,197
	対前年比	92.3	97.4

平成 20 年の観光客の実人数は 697 万人で、前年と比べ 7.7%減少した。

圏域内で最も観光客数が多いのは「八ヶ岳高原周辺」の 511 万人であるが、前年比で観光客数が増加した地域はなかった。

「八ヶ岳高原周辺」の観光客数は、首都圏や中京圏などからの遠出が手控ええられる傾向が続いたことに加え、11 月で閉館した風林火山館の入場者数が前年比で 40 万人余り減少したことなどから、全体では 5.1%の減少となった。

また宿泊客数 1.5%減少した。

「金峰・みずがき周辺」の観光客数は、「八ヶ岳高原周辺」同様に、マイカー利用者の減少などから温泉利用者をはじめ全般的に客足が伸び悩み、全体として 11.4%の減少となった。

また宿泊も 1.4%の減少となった。

「甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺」の観光客数は、公園や道の駅など全般に客数が減少し、全体として 13.7%の減少となった。

また、宿泊客数も 9.5%減少した。

「茅ヶ岳周辺」の観光客数は、エリア内で最も集客の多いハイジの村（フラワーセンター）が年の後半を中心に入場者数が減少したほか、マイカー利用者の減少により

サンフラワーフェスティバルの客数も大きく減少したことなどから、18.4%の減少となった。

また、宿泊客数も6.5%減少した。

⑤富士・東部圏域

図表 15 富士・東部圏域 観光客実人数及び宿泊客実人数

富士・東部圏域		観光客実人数	宿泊客実人数
富士山五合目	H20	2,140,931	※富士吉田・河口湖・三つ峠周辺に含む
	H19	2,008,409	
	対前年比	106.6	
富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	H20	6,444,140	1,947,605
	H19	6,393,117	1,843,337
	対前年比	100.8	105.7
本栖湖・精進湖・西湖周辺	H20	3,377,859	435,876
	H19	3,188,573	445,133
	対前年比	105.9	97.9
山中湖・忍野周辺	H20	3,440,314	827,724
	H19	3,564,707	859,568
	対前年比	96.5	96.3
大月・北都留	H20	786,358	100,566
	H19	798,150	109,774
	対前年比	98.5	91.6
桂川・道志川周辺	H20	1,240,113	147,798
	H19	1,294,671	155,965
	対前年比	95.8	94.8
小計	H20	17,429,715	3,459,569
	H19	17,247,627	3,413,777
	対前年比	101.1	101.3

平成 20 年の観光客の実人数は 1,743 万人で、前年比では 1.1%増加した。

圏域内では「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺」が 644 万人で最も多く、次いで「山中湖・忍野周辺」、「本栖湖・精進湖・西湖周辺」と、富士五湖地方が続いている。

また、前年比で増加率が最も高かったのは、登山者数の増加が続いている「富士山五合目」(6.6%増)であった。

「富士山五合目」は、富士山有料道路のマイカー規制期間が昨年から 2 日間延長されたものの、世界遺産への登録機運の広がりや山小屋などの環境改善が進んだことによって幅広い年代層に富士山及び富士登山への関心が高まり、登山者並びに富士山有料道路の利用者が増加し、前年比で 6.6%の増となった。

「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺」の観光客数は、河口湖湖上祭や吉田の火祭りなどが平日開催となったことなどから減少したものの、首都圏を中心に比較的近距離にある富士五湖方面への集客が増加したとみられることから、道の駅や温泉客などが堅調に推移し、全体では 0.8%の増加となった。

また、富士山と合わせた宿泊客数は、5.7%の増加となった。

「本栖湖・精進湖・西湖周辺」の観光客数は、初めて開催された富士芝桜まつりにDCの効果もあってツアー客など多くの集客があり、また周辺観光施設にも観光客が流れたことなどから、全体として5.9%の増加となった。

一方、宿泊客数は2.1%の減少となった。

「山中湖・忍野周辺」の観光客数は、公園や美術館など客数の増加がみられた施設もあったものの、日帰り温泉施設などの利用者が伸び悩み、全体としては3.5%の減少となった。

また、宿泊客数も3.7%の減少となった。

「大月・北都留」の観光客数は、一部の日帰り温泉施設やキャンプ場利用者などは増加したものの、ゴルフ場利用者が全体的に減少したことなどによって、前年比で1.5%減少した。

また、宿泊客数は8.4%の減少となった。

「桂川・道志川周辺」の観光客数は、一部の日帰り温泉施設が営業活動の強化などにより利用者の増加が続いたものの、最も客数の多い道の駅などで利用者数が減少したことなどから、全体としては4.2%の減少となった。

また、宿泊客数も5.2%減少した。

(4) 平成 20 年観光消費額

本県の観光消費額を、アンケート調査に基づく 1 人あたり観光消費額単価から算出した。この結果、総消費額は 4,321 億円となり、1 人当たりの平均観光消費額は 9,092 円となった。

県内宿泊客が前年比 9.9%減となったのをはじめ、宿泊・日帰り、県内・県外に関わらず全ての区分で観光消費額が減少した。これは、1 人当たりの観光消費額の減少による影響が大きく、宿泊客の交通費を除く全科目で消費単価が減少している。

期間の前半はガソリン価格の高騰、後半は経済の先行き不安などから、宿泊費などの支出を抑える傾向が強まったためとみられ、多くの観光施設や宿泊施設でも客単価が減少しているとの声が上がっている。

図表 16 宿泊・日帰り別観光消費額総括表

H20		実人数 (人)	1人当たり 観光消費額 (円)	観光消費額 (億円)	(H19) (億円)	対前年比
全 体		47,529,127	9,092	4,321	4,461	96.9
宿 泊	県外客	6,085,937	23,430	1,426	1,454	98.1
	県内客	227,866	16,218	37	41	90.9
		6,313,803	23,170	1,463	1,495	97.9
日 帰 り	県外客	25,663,307	8,819	2,263	2,355	96.1
	県内客	15,552,017	3,828	595	611	97.5
		41,215,324	6,936	2,859	2,966	96.4

※全体及び宿泊・日帰りそれぞれの合計の 1 人あたり平均観光消費額は、観光消費額から実人数を除いて求めた単純平均額である。

図表 17 1 人あたり平均観光消費額の内訳

H20		宿泊費	飲食費	交通費	入場・ 観覧費	土産・ 買物費等	合計
宿泊客	金額(円)	10,544	4,185	3,688	985	3,790	23,192
	構成比(%)	45.5	18.0	15.9	4.2	16.3	100.0
日帰り客	金額(円)		1,661	1,431	721	2,367	6,180
	構成比(%)		26.9	23.2	11.7	38.3	100.0

※宿泊客、日帰り客とも、県外客と県内客人数比による加重平均であるため、図表 16 の 1 人あたり観光消費額とは異なる。

第2部

観光客アンケート調査による分析

1. 調査の概要

県内を訪れた観光客に対して、平成20年の冬・春・夏・秋のシーズンごとに県内各地の観光地点において対面聞き取り式によりアンケート調査を実施した。調査結果を集計するとともに、性別・年齢階層別等の分析をすることにより、旅行の目的や訪問先、消費額等の動態や旅行での満足度を明らかにする。

(1) 調査日

観光地点を、

- ① 自然
- ② 文化歴史
- ③ 産業観光
- ④ スポーツ・レクリエーション
- ⑤ 温泉
- ⑥ 買い物
- ⑦ 行・祭事
- ⑧ イベント

に分類し、季節ごとに各分類1カ所ずつの調査地点を定め、県下8カ所で調査を実施した。

- | | | |
|---|------------------|-----------------|
| 冬 | 平成20年2月2日(休日調査) | |
| | 平成20年2月6日(平日調査) | |
| | 平成20年2月9日(休日調査) | ※「ひな飾りと桃の花祭り」のみ |
| | 平成20年2月13日(平日調査) | ※「厄除け地藏尊祭り」のみ |
| 春 | 平成20年5月2日(平日調査) | |
| | 平成20年5月3日(休日調査) | |
| | 平成20年5月4日(休日調査) | ※「多摩源流まつり」のみ |
| 夏 | 平成20年8月3日(休日調査) | |
| | 平成20年8月5日(平日調査) | |
| | 平成20年8月7日(平日調査) | ※「神明の花火」のみ |
| | 平成20年8月26日(平日調査) | ※「吉田の火祭り」のみ |
| 秋 | 平成20年11月2日(休日調査) | ※「秋の甲州味覚体験」のみ |
| | 平成20年11月3日(休日調査) | |
| | 平成20年11月7日(平日調査) | |

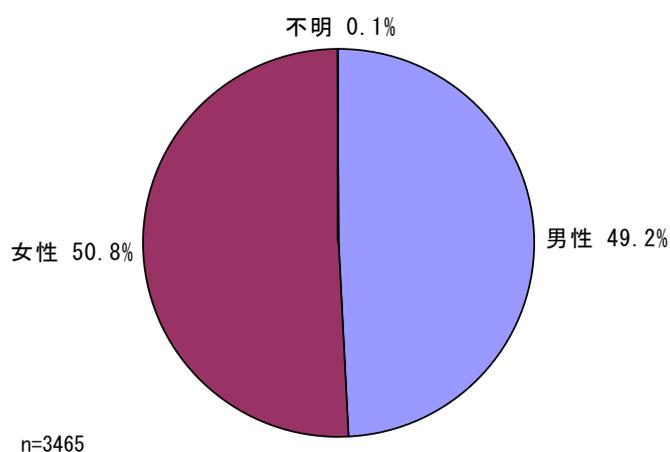
2. 観光客の特性、動態状況の分析

観光客アンケート調査の結果を基に、本県の観光客の全体像と、分類別の観光客の特徴を分析した。

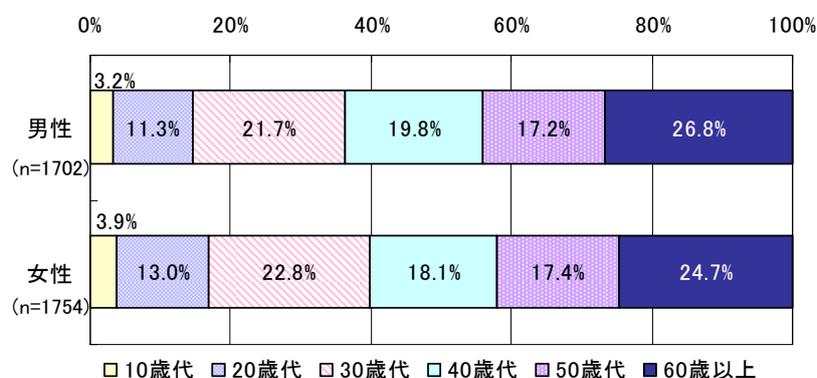
(1) 本県観光客の全体像

① アンケート回答者の属性

アンケート回答者のうち、男性は49.2%、女性は50.8%である。



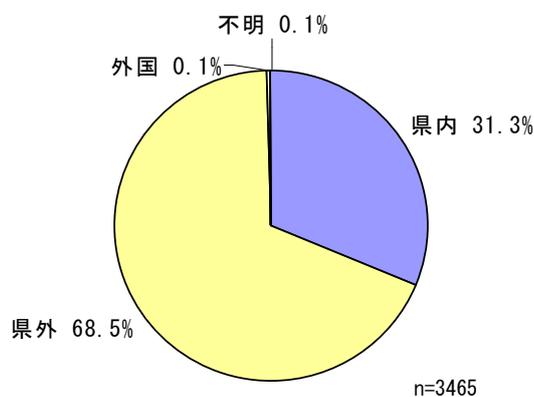
男女別に年齢層をみると、男性観光客は「60歳以上」が26.8%と最も多く、次いで「30歳代」(21.7%)、「40歳代」(19.8%)と続いている。女性観光客も「60歳以上」が24.7%と最も多く、「30歳代」(22.8%)、「40歳代」(18.1%)など、構成比に若干違いはあるものの、男性と同様の順序となっている。



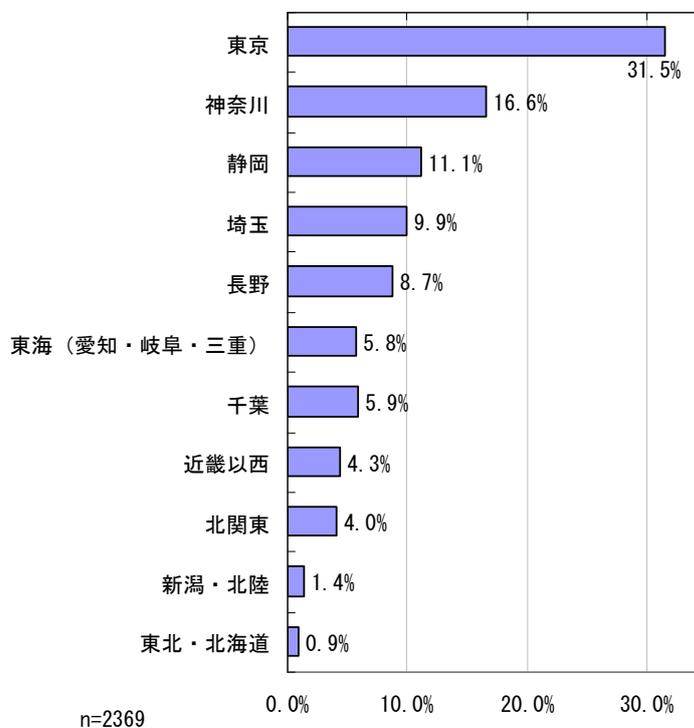
※不明の者を除く

②観光客の居住地

観光客の居住地は、「県内」が31.3%、「県外（外国を含む）」が68.6%である。前年に比べ、「県内」が1.6%増加している。



また、外国人及び不明の者を除いた県外客の居住地は、東京都（31.5%）、神奈川県（16.6%）、静岡県（11.1%）、埼玉県（9.9%）、長野県（8.7%）と、隣接する都県からの来訪者が多く、昨年と傾向は変わっていない。なお、隣接都県以外の地域の割合は昨年よりも減少している。

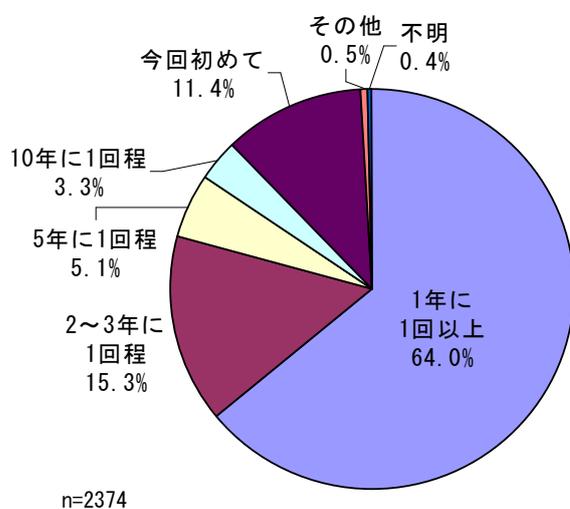


※外国人及び不明の者を除く

③ 県外客の山梨への訪問頻度

山梨を訪れる頻度は、「1年に1回以上」が64.0%で最も多く、次いで「2～3年に1回程度」(15.3%)、「今回初めて」(11.4%)と続いている。

前年に比べ、「1年に1回以上」及び「今回初めて」などの割合が高くなっている。これは、居住地の分布と考え合わせると、近県からのリピーター客が多いことや、デスティネーションキャンペーンなどをきっかけに、初めて訪れた観光客が増加したことが要因と思われる。



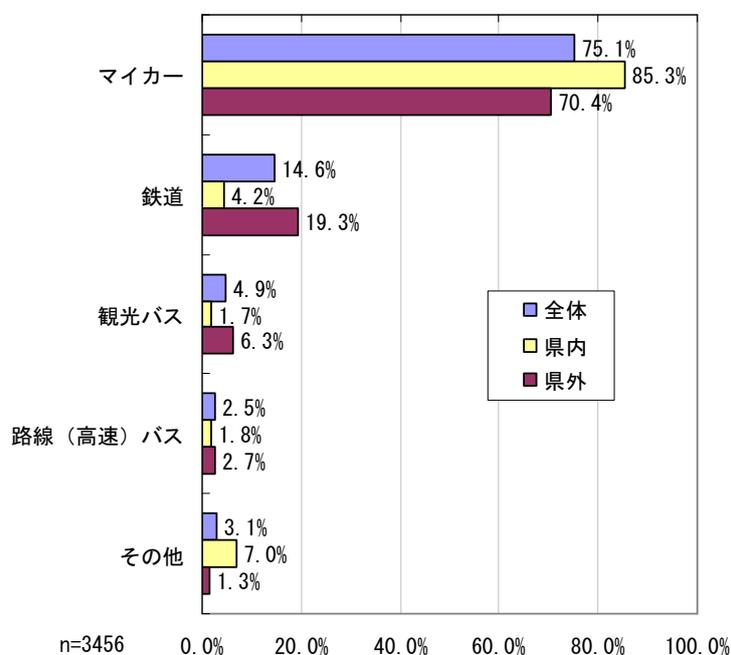
※外国人及び不明の者を除く

④観光客の交通手段

県内・県外を含めた全体での利用交通機関は、「マイカー」(75.1%)が最も多く、次いで「鉄道」(14.6%)、「観光バス」(4.9%)となっている。

県内客では「マイカー」が85.3%に達し、鉄道やバスの利用者は少ない。(県内客の「その他」(7.0%)には、徒歩や二輪車利用者が含まれると考えられる。)

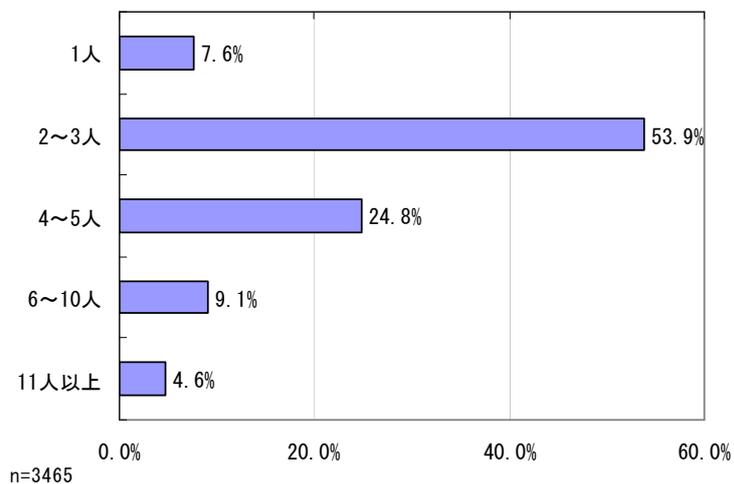
また、県外客も「マイカー」の比率が70.4%と最も高い一方、前年、大河ドラマの影響で増加したバスツアーや鉄道での来訪者の比率が低下し、「鉄道」(22.3%, 対前年-3.5ポイント)、「観光バス」(7.5%, 同-1.2ポイント)などとなっている。



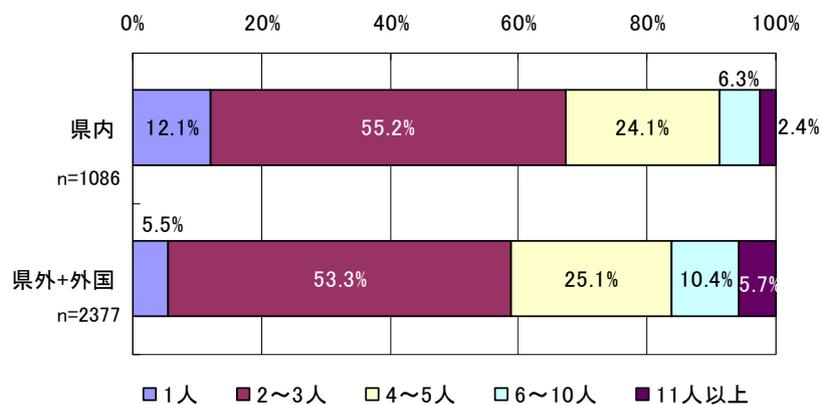
※外国人及び不明の者を除く

⑤観光客の同行人数

同行者の人数は、「2～3人」が53.9%と最も多く、次いで「4～5人」(24.8%)などとなっており、5人以下の少人数のグループによる旅行が85%以上を占めている。

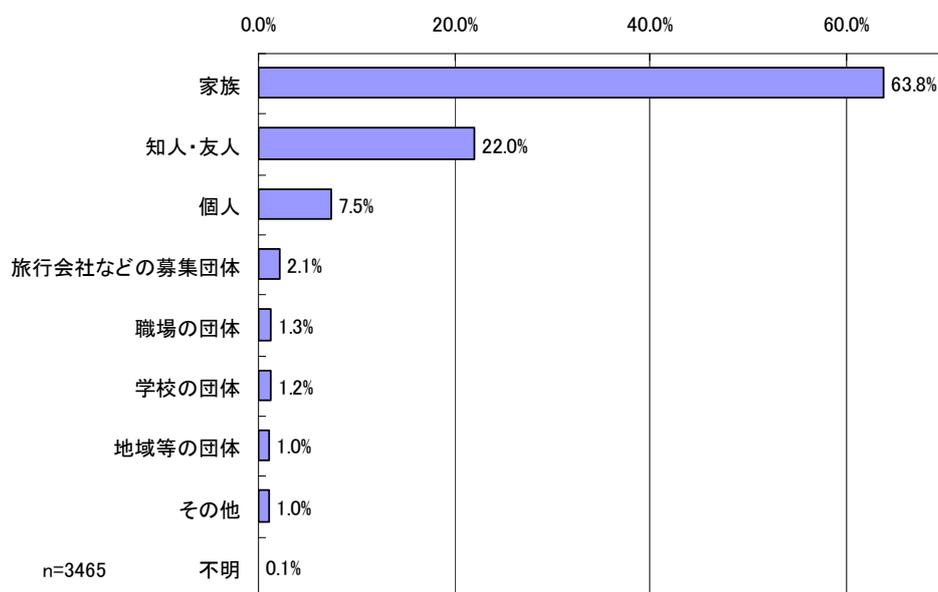


また、県内・県外別の旅行人数では、2～5人程度のグループが多い傾向は変わらないものの、県内客に比べ県外客では6人以上の団体の割合が比較的高くなっている。

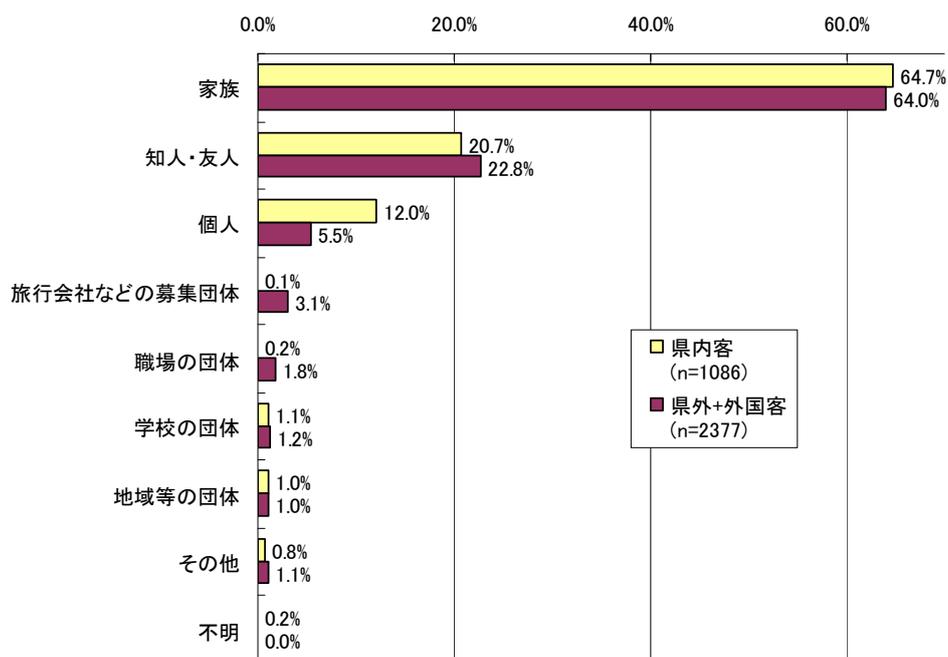


⑥観光客のグループ形態

本県の観光客のグループ形態では、「家族」が63.8%で過半数を占めており、次いで「友人・知人」(22.0%)などとなっている。

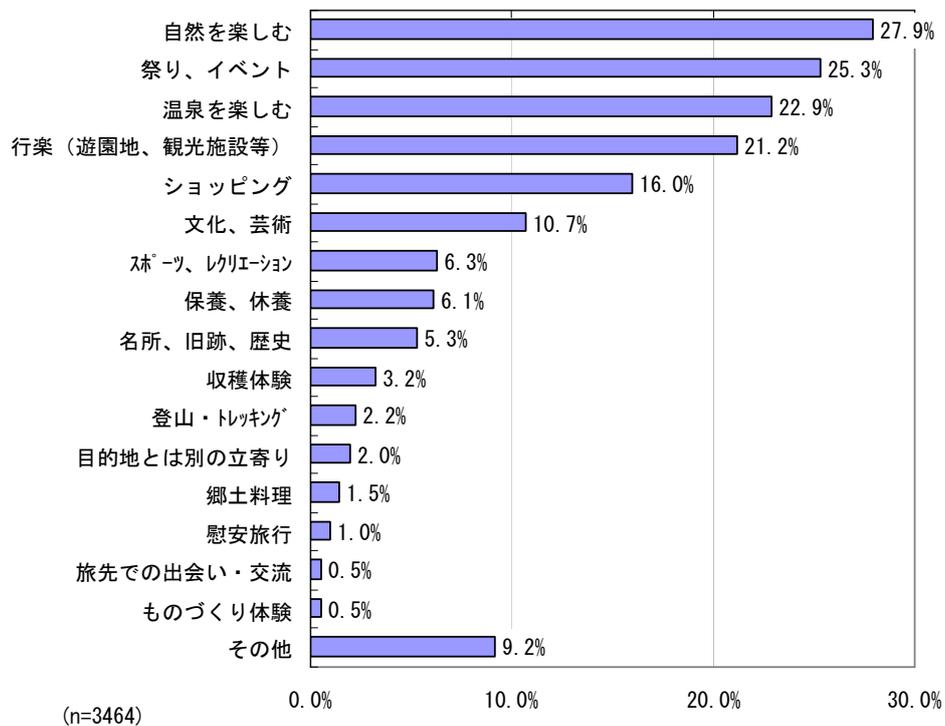


県外・県内別にみても、「家族」がともに6割を超え、「知人・友人」が2割前後と同じ傾向である。しかし、同行人数と同様に、県外客では「個人」旅行は少なく、各種団体旅行の割合が県内客よりも多い傾向がみられる。



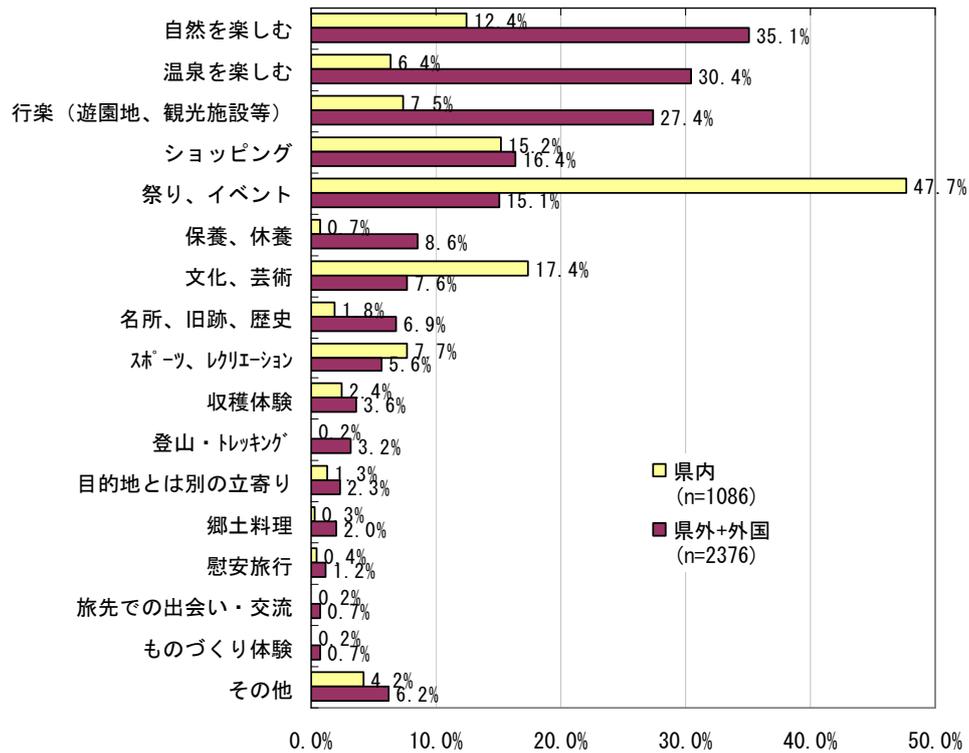
⑦観光客の旅行目的

旅行者の主な目的では、「自然を楽しむ」が26.6%と最も多く、次いで「温泉を楽しむ」(25.6%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(24.1%)などとなっている。



* 複数回答

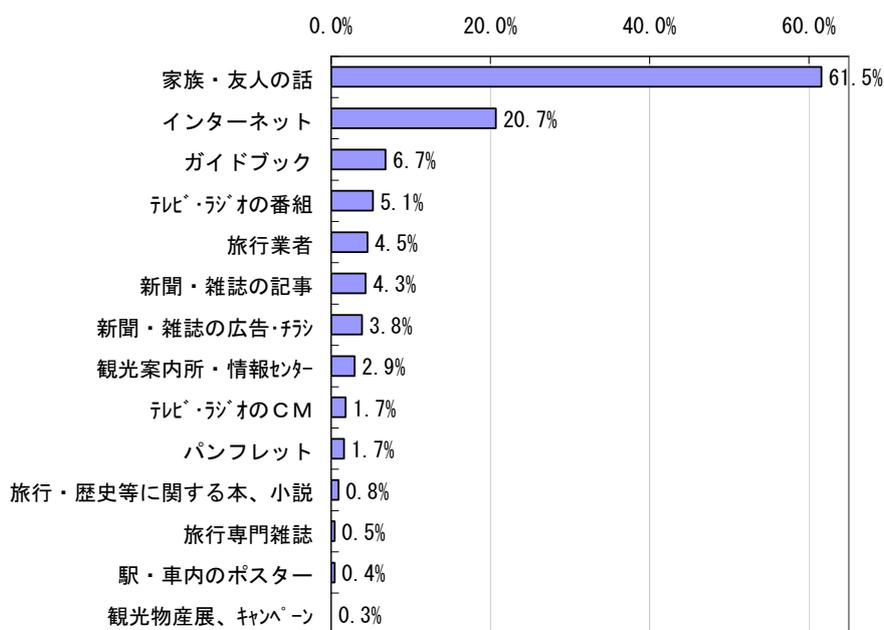
旅行の目的を県内客・県外客別にみると、県外客では「温泉を楽しむ」(31.3%)が最も多く、「自然を楽しむ」(30.3%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(29.5%)などの順となっている。一方、県内客では「温泉を楽しむ」ことを目的としている方の割合は低く(7.7%)、「祭り、イベント」が38.9%で最も多い。



* 複数回答

⑧旅行計画の参考資料

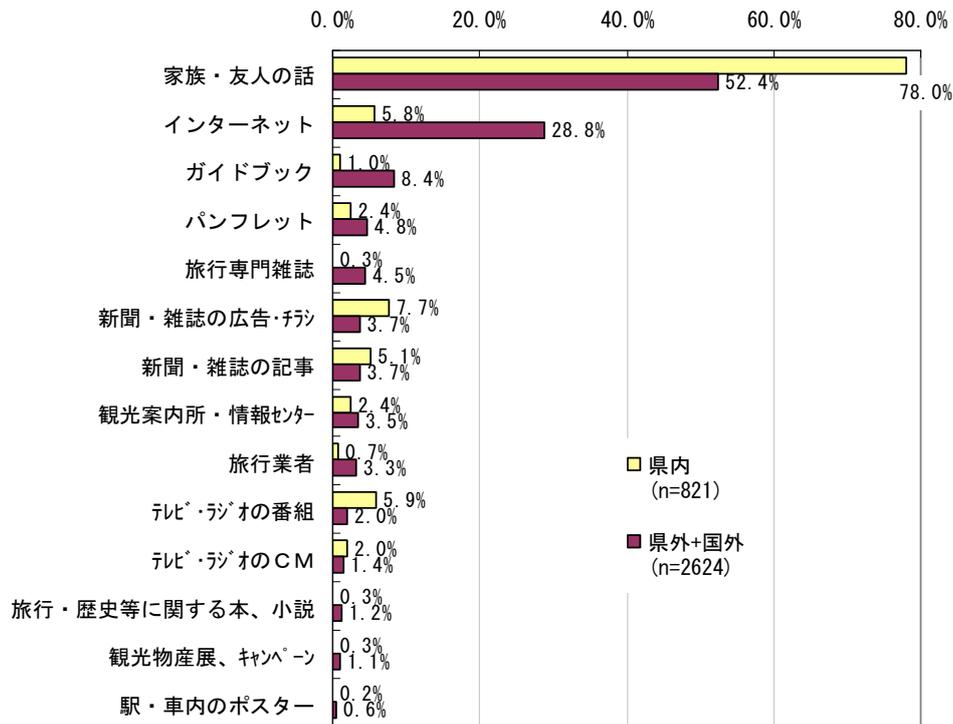
観光客が旅行計画を立てる際に参考にするものとしては、「家族・友人の話」が61.3%で突出しており、次いで「インターネット」(20.6%)、「ガイドブック」(6.7%)と続いている。



(n=3433)

* 複数回答

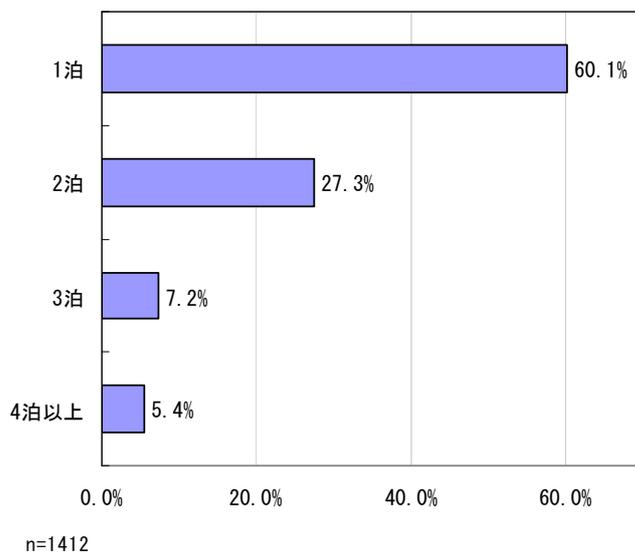
旅行計画の参考資料を県外客と県内客別にみると、県外客では「家族・友人の話」(56.4%)が最も多く、「インターネット」(25.5%)と続き、『ロコミ』と『インターネット』の二つが中心になっているが、県内客では「家族・友人の話」が76.9%と、他の項目に比べて大きな比率となっている。



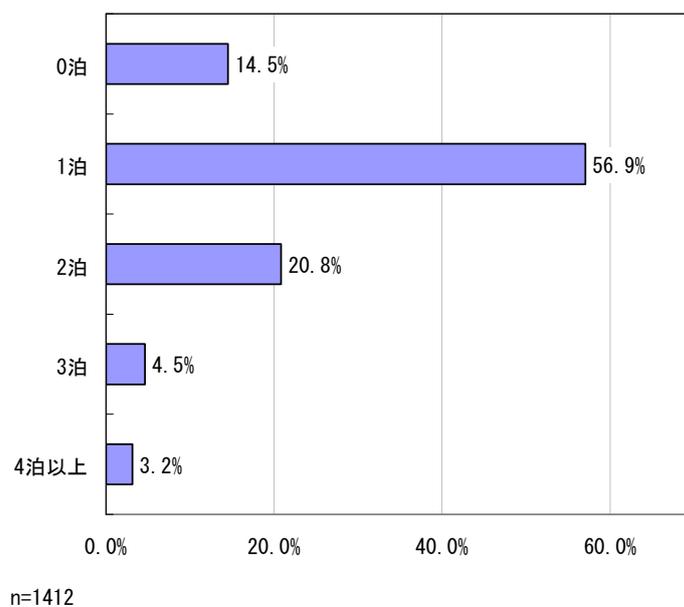
* 複数回答

⑨観光客の宿泊状況

宿泊客（県外・県内とも）に対して今回の旅行の宿泊数を尋ねたところ、「1泊」が60.1%で最も多く、次いで「2泊」（27.3%）となり、「4泊以上」は5.4%であった。比較的短期間の旅行客が多いことがうかがえる。



宿泊客のうち、山梨県内への宿泊数は、「1泊」（56.9%）が最も多く、次いで「2泊」（20.8%）であるが、「0泊」（他県に宿泊）も14.5%あった。



⑩観光客の行動パターン

観光客が、県内観光地を訪れた平均地点数は、県外からの観光客が1.54地点（前年1.52地点）、県内からの観光客は1.26地点（同1.26地点）となり、県外客については前年よりも訪問地点数が増加した。

観光客の居住地	県外客	県内客
サンプル数	2,377人	1,086人
県内の訪問箇所数	3,657地点	1,367地点
平均訪問地点数 （前年）	1.54地点 (1.52地点)	1.26地点 (1.26地点)

⑪県内での観光消費額

本県での観光消費の実態を把握するため、観光客を「団体ツアー客」と「ツアー以外の個人・団体旅行客」に分け、それぞれの観光消費額を分析した。

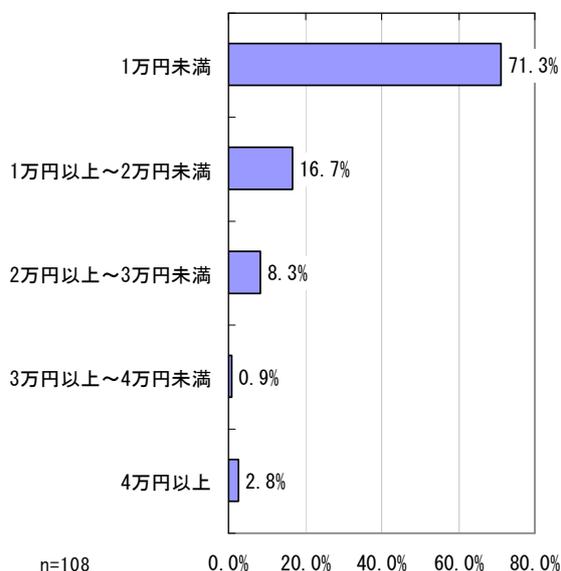
また、ツアー以外の旅行客に関しては、さらに「県外からの宿泊客」、「県内からの宿泊客」、「県外からの日帰り客」、「県内からの日帰り客」の4つの属性に分け、項目別にそれぞれの平均観光消費額を求めた。

(1) 団体ツアー

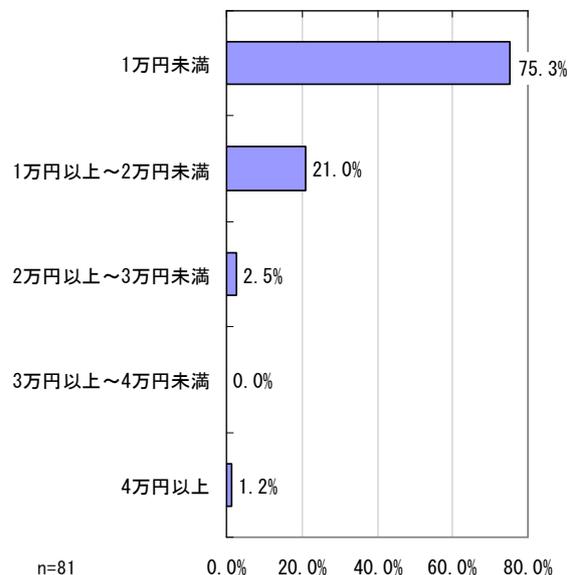
ツアー料金は「1万円未満」(71.3%)が最も多く、前年の33.8%に比べ37.5ポイント増加した。一方、「1万円以上～2万円未満」が前年より15.8ポイント少ない16.7%となるなど、1万円以上のツアー客が大きく減少した。これは、前年増加した風林火山にちなんだ宿泊を伴うツアー参加者が減少したためとみられる。この結果、ツアー料金の平均額は9,895円で、前年の平均18,459円から8,500円余り減少した。

ツアー料金以外の消費額では、「1万円未満」(75.3%)が最も多く、次いで、「1万円以上～2万円未満」(21.0%)となっており、前年とほぼ同様の傾向となっている。

ツアー料金



ツアー料金以外の支出



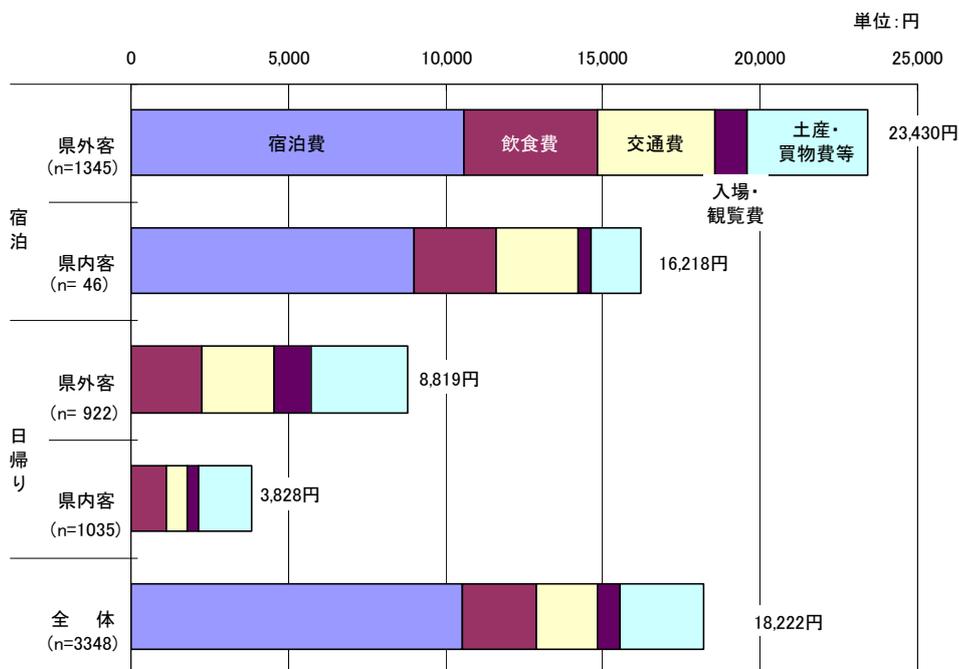
(2) 団体ツアー以外の個人・団体旅行

属性（県内・県外及び宿泊・日帰り）別の1人当たり平均観光消費額は、「県外からの宿泊客」が23,430円、「県内の宿泊客」が16,218円、「県外からの日帰り客」が8,819円、「県内からの日帰り客」が3,828円となった。

また全体の平均消費額は、宿泊費が10,544円、宿泊費以外の支出が7,678円であった。

属性		宿泊費	飲食費	交通費	入場・観覧費	土産・買物費等	合計
宿泊	県外客	10,596	4,238	3,724	1,006	3,866	23,430
	県内客	8,987	2,615	2,633	374	1,609	16,218
		10,544	4,185	3,688	985	3,790	23,192
日帰り	県外客	—	2,238	2,322	1,144	3,115	8,819
	県内客	—	1,147	638	342	1,701	3,828
		—	1,661	1,431	721	2,367	6,180
全体		10,544	2,340	1,960	715	2,662	18,222

※宿泊及び日帰りの合計並びに全体平均は、加重平均により算出しているため、単純平均額とは異なる



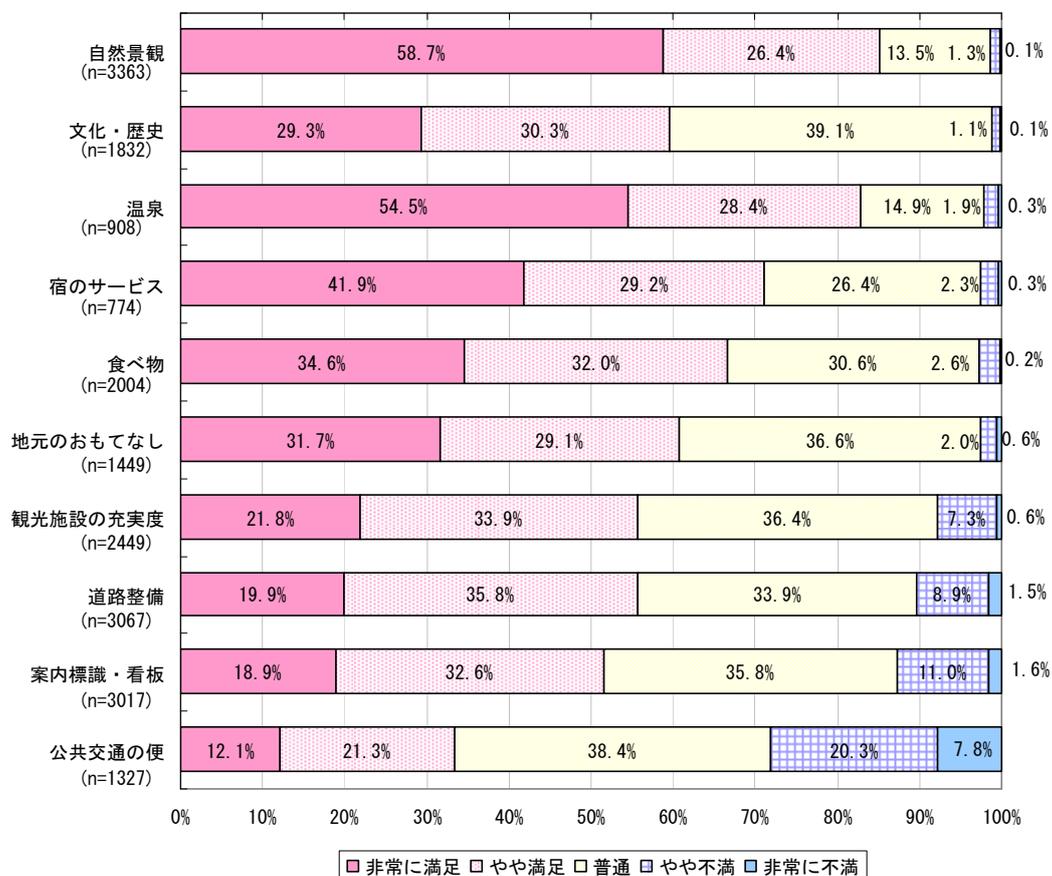
⑫観光客の満足度

今回の旅行において観光客が『満足』と答えた割合（「わからない」及び「不明」を除いた回答者のうち、「非常に満足」または「やや満足」と回答した人の割合）が最も高いのは「自然景観」（85.1%）で、次いで「温泉」（82.9%）、「宿のサービス」（71.1%）となっており、これらの項目は前年よりも満足度が高まっている。

逆に、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合が高いのは、「公共交通の便」（28.2%）、「案内標識・看板」（12.7%）、「道路整備」（10.5%）などのインフラ面であった。

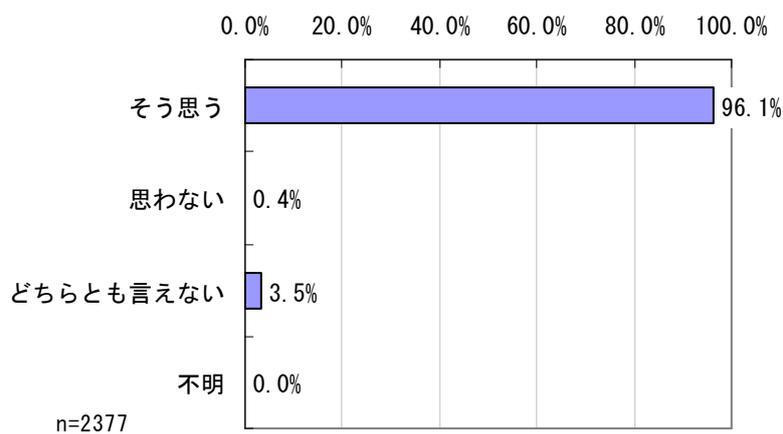
	満足			普通	不満		
	非常に満足	やや満足	非常に不満		やや不満	非常に不満	
自然景観	85.1%	58.7%	26.4%	13.5%	1.4%	1.3%	0.1%
文化・歴史	59.7%	29.3%	30.3%	39.1%	1.2%	1.1%	0.1%
温泉	82.9%	54.5%	28.4%	14.9%	2.2%	1.9%	0.3%
宿のサービス	71.1%	41.9%	29.2%	26.4%	2.6%	2.3%	0.3%
食べ物	66.6%	34.6%	32.0%	30.6%	2.8%	2.6%	0.2%
地元のおもてなし	60.8%	31.7%	29.1%	36.6%	2.6%	2.0%	0.6%
観光施設の充実度	55.7%	21.8%	33.9%	36.4%	7.9%	7.3%	0.6%
道路整備	55.6%	19.9%	35.8%	33.9%	10.5%	8.9%	1.5%
案内標識・看板	51.5%	18.9%	32.6%	35.8%	12.7%	11.0%	1.6%
公共交通の便	33.5%	12.1%	21.3%	38.4%	28.2%	20.3%	7.8%

※「わからない」及び不明を除く



⑬ 県外客の再訪の意志

県外からの観光客に対し、また山梨に来たいと思うか尋ねたところ、「そう思う」が96.1%、「思わない」が0.4%で、多くが再訪の意志を有している。



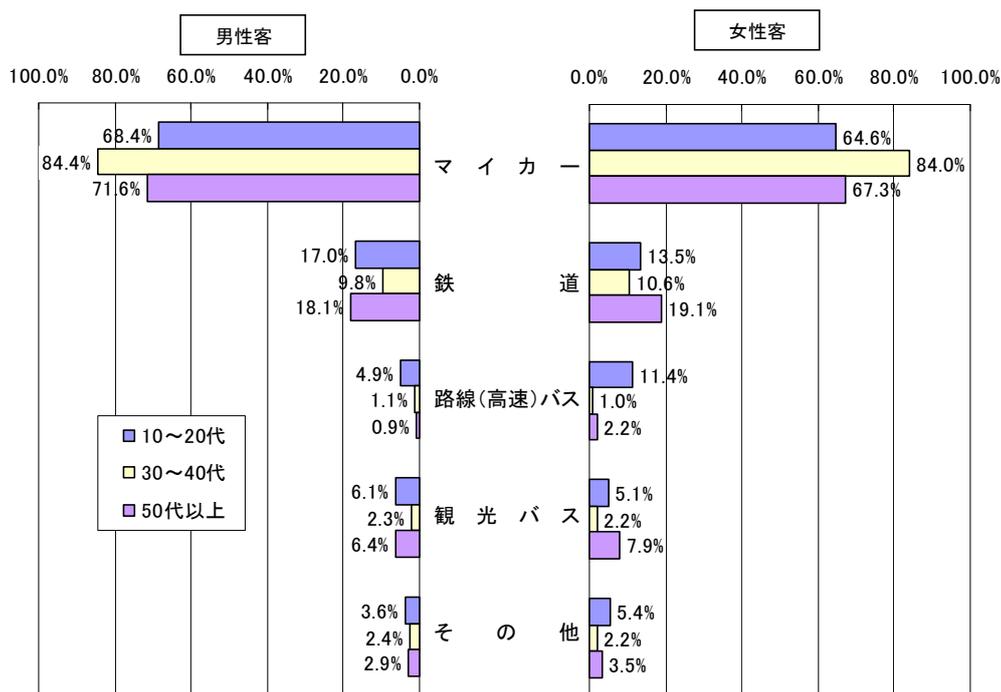
(2) 属性（性別・年代）別の観光客の特徴

アンケート回答者の属性（性別及び年代）別に特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

- ①観光客の交通手段
- ②観光客の旅行目的
- ③旅行計画の参考資料
- ④宿泊の有無

①観光客の交通手段

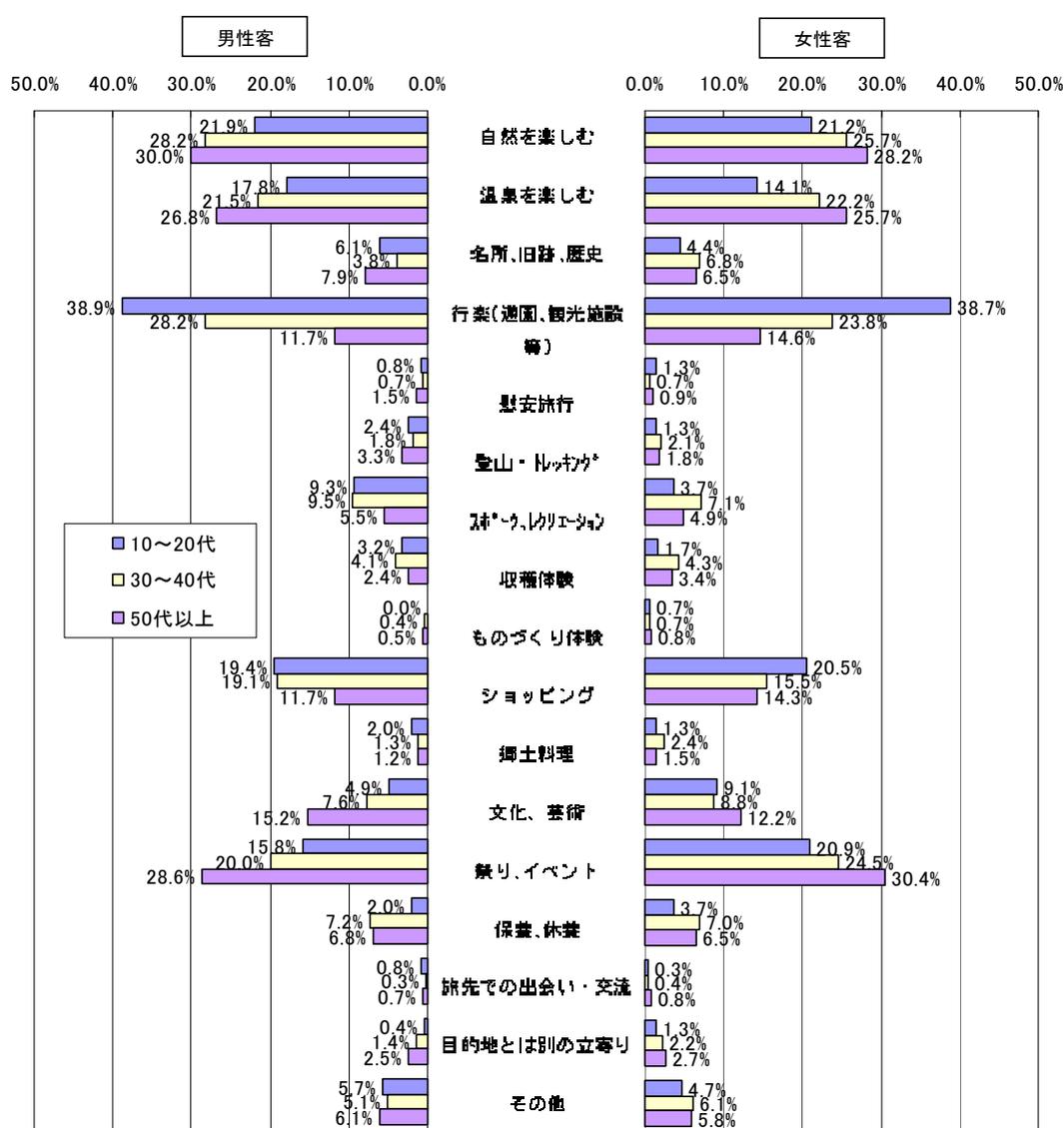
交通手段は、性別・年代を問わず「マイカー」が最も多く、特に30～40代では男性が84.4%、女性も84.0%と高い割合となっている。他の交通機関別にみると、「鉄道」は「50代以上の女性」(19.1%)、「路線(高速)バス」は「10～20代の女性」(11.4%)、「観光バス」では「50代以上の女性」(7.9%)が、それぞれ他の属性に比べてやや多くなっており、これらの傾向は概ね昨年と変わっていない。



②観光客の旅行目的

属性別の旅行目的では、年代による志向の差はみられるものの、同年代では性別による差はあまりみられない。

旅行目的で最も多いのは、10～20代では男女ともに「行楽（遊園、観光施設）」が40%近くに達しているほか、30～40代では「自然を楽しむ」と「行楽（遊園、観光施設）」が同程度で上位を占めている。また、50代以上では男女とも「自然を楽しむ」と「祭り、イベント」の割合が高く、「温泉を楽しむ」も他の年代に比べ多くなっている。



*複数回答

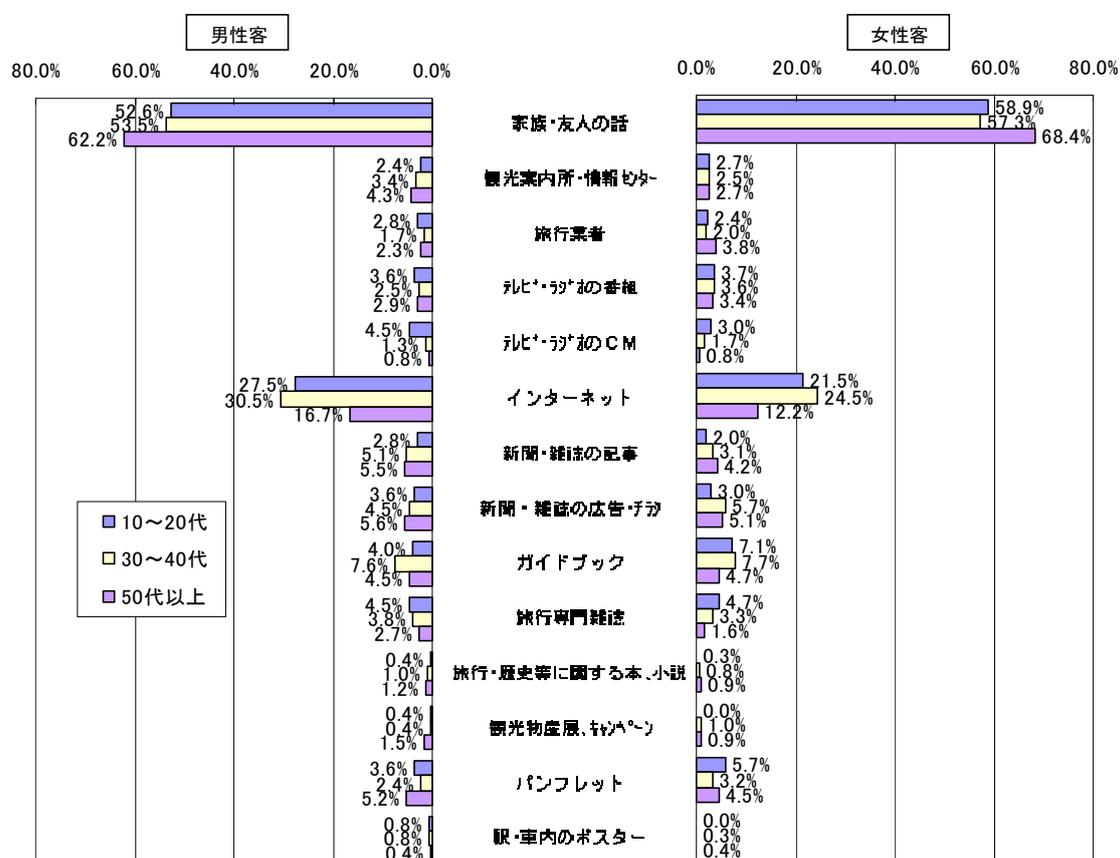
③旅行計画の参考資料

旅行の際に参考にする資料は、各年代・性別とも「家族・友人の話」が最も多く、次いで「インターネット」となっている。

特に50代以上の女性は「家族・友人の話」が68.4%と、最も多くなっている。

インターネットに関しては、10～20代、30～40代は男女に関わらず約25%～30%の割合に達するが、50代以上では利用者が少ない。

全般的な傾向は前年と変わっていないが、「パンフレット」の回答が各年代・性別ともに前年から増加しており、デスティネーションキャンペーンなどの効果が現れているとみられる。

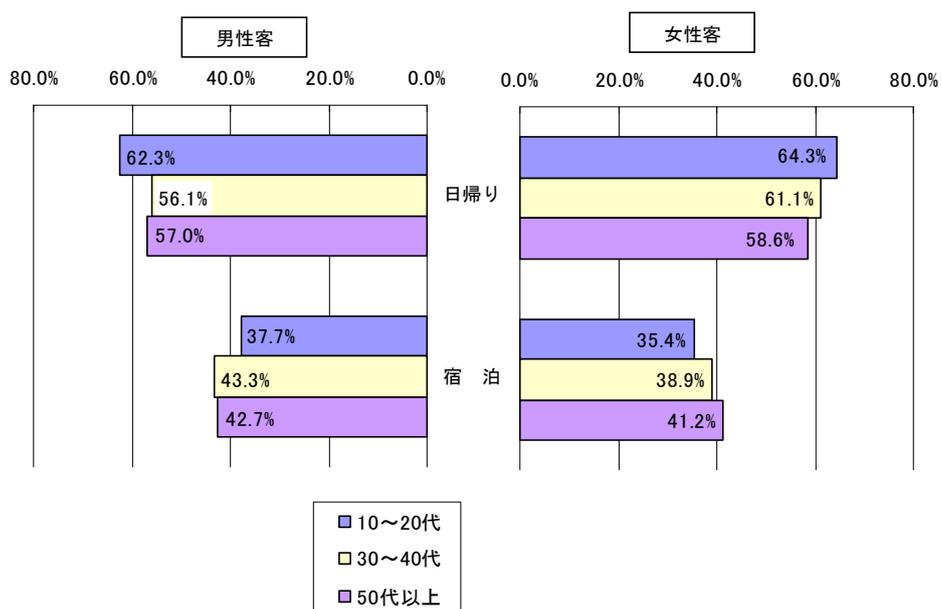


*複数回答

④宿泊の有無

属性別に旅行形態（宿泊か日帰りか）を分析すると、男女ともに全年代で「日帰り」が「宿泊」を上回り、特に10～20代では男女ともに「日帰り」の割合が6割を超えている。

一方、「宿泊」の比率が4割を超えているのは、30～40代の男性（43.3%）と50代以上の男性（42.7%）及び女性（41.2%）である。



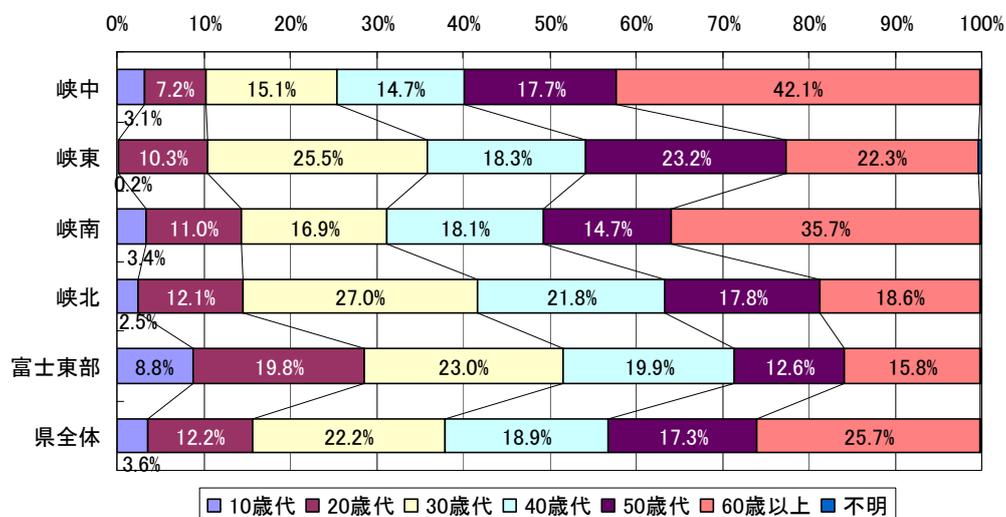
(3) 圏域別の観光客の特徴

圏域別の観光客の特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

- ①アンケート回答者の属性
- ②観光客の交通手段
- ③観光客の同行人数
- ④観光客のグループ形態
- ⑤宿泊の有無
- ⑥観光客の満足度

①アンケート回答者の属性

圏域別の年代構成をみると、「峡中」で50歳代以上がおよそ6割に達しているほか、「峡南」でも5割を超えている。一方、「富士・東部」では30代以下が過半数となり、「峡北」でも30代以下がおよそ40%を占めており、調査地点の影響も考えられるが、年代により訪問地域に偏りがみられる。



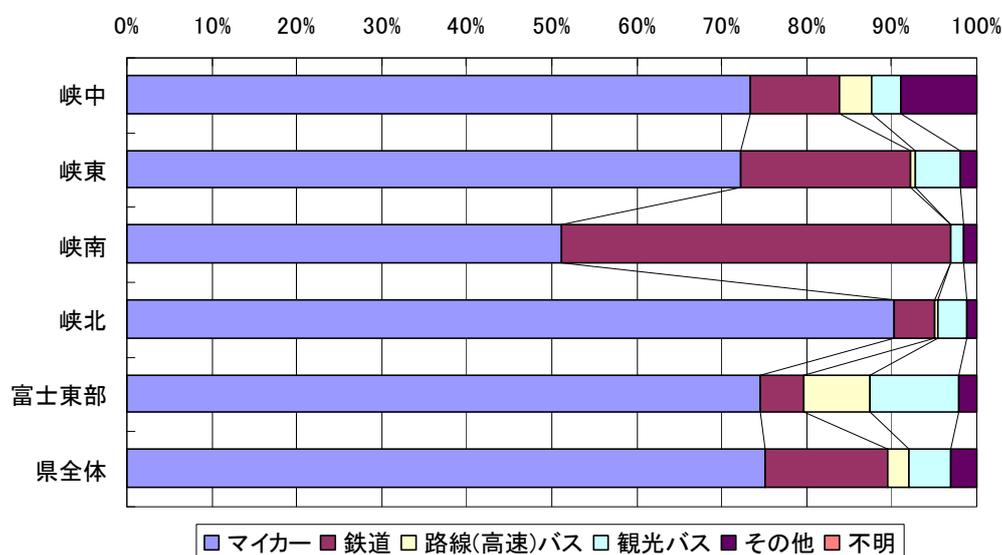
②観光客の交通手段

圏域別に観光客の交通手段を比較すると、「峡南」を除く各圏域で「マイカー」利用が最も多く、特に「峡北」圏域では「マイカー」利用がそれぞれ 90.4%と高い割合となっている。

「峡南」圏域では、下部温泉での調査が中心であったため、「鉄道」利用者が多く(45.9%)、「峡東」及び「峡中」圏域でも「鉄道」利用者がそれぞれ 19.9%、10.3%あった。

また、「富士・東部」圏域では、「観光バス」及び「路線(高速)バス」利用者の割合が他県域よりも高くなっている。

圏域	マイカー	鉄道	路線(高速)バス	観光バス	その他	不明	回答者数
峡中	73.5%	10.3%	3.7%	3.4%	9.0%	0.0%	667
峡東	72.3%	19.9%	0.6%	5.3%	1.9%	0.0%	624
峡南	51.1%	45.9%	0.0%	1.4%	1.6%	0.0%	501
峡北	90.4%	4.6%	0.4%	3.4%	1.2%	0.0%	996
富士東部	74.4%	5.2%	7.7%	10.5%	2.1%	0.0%	673
県全体	75.1%	14.6%	2.5%	4.9%	3.1%	0.0%	3,461

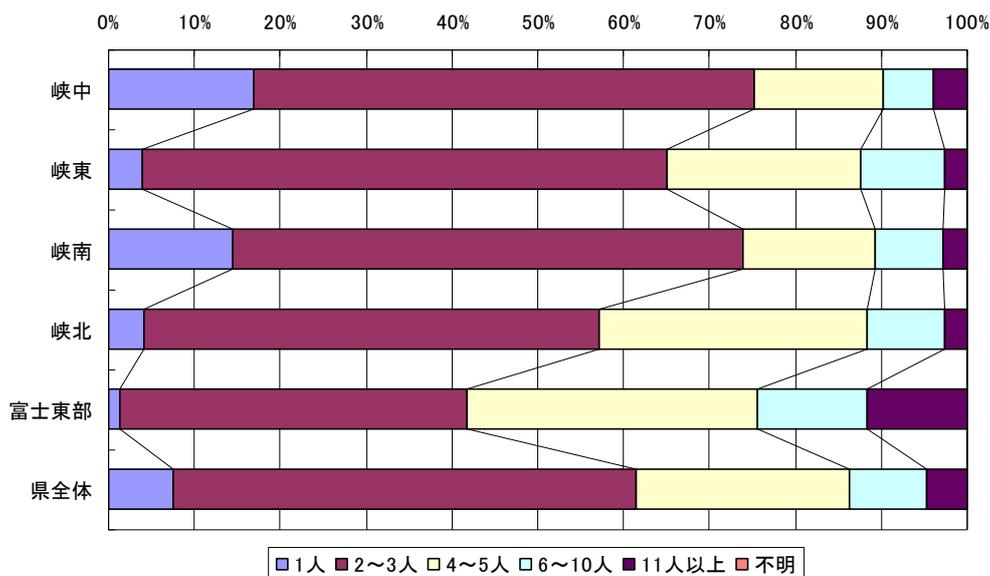


③観光客の同行人数

圏域別に旅行者の同行者数を比較すると、いずれの圏域においても「2～3人」の割合が最も高く、特に「峡東」圏域では61.1%を占めている。

このほか、「1人」は「峡中」（16.9%）及び「峡南」（14.5%）で高い。「富士・東部」圏域では、4人以上の各層がすべて他圏域よりも高く、特に「11人以上」が11.6%に達するなど、比較的多人数で来訪する割合が多いことがわかる。

圏域	1人	2～3人	4～5人	6～10人	11人以上	不明	回答者数
峡中	16.9%	58.2%	15.1%	5.8%	3.9%	0.0%	668
峡東	4.0%	61.1%	22.6%	9.6%	2.7%	0.0%	624
峡南	14.5%	59.4%	15.3%	8.0%	2.8%	0.0%	502
峡北	4.2%	52.9%	31.2%	9.0%	2.6%	0.0%	996
富士東部	1.3%	40.4%	33.9%	12.8%	11.6%	0.0%	673
県全体	7.6%	53.9%	24.8%	9.1%	4.6%	0.0%	3,463



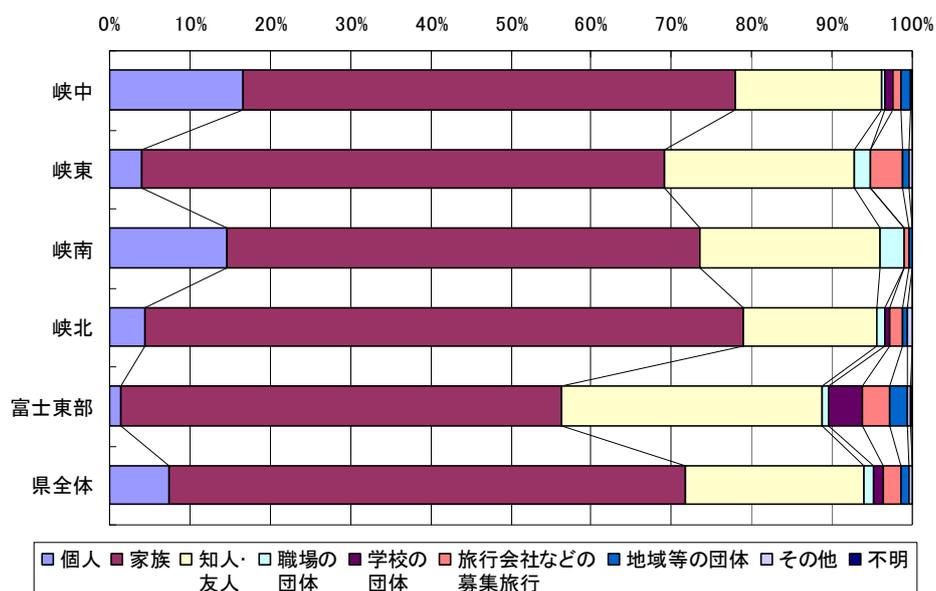
④観光客のグループ形態

圏域別のグループ形態では、いずれの圏域も「家族」での旅行が最も多く、特に「峡北」圏域では74.6%と高い割合となっている。

個別にみると、「峡中」と「峡南」圏域では「個人」がそれぞれ16.6%、14.5%と他圏域に比べて比率が高く、「峡東」圏域では「旅行会社などの募集旅行」の割合が他圏域より高くなっている。

また、「富士・東部」圏域では「知人・友人」の割合が32.4%となっていることなどが特徴的である。

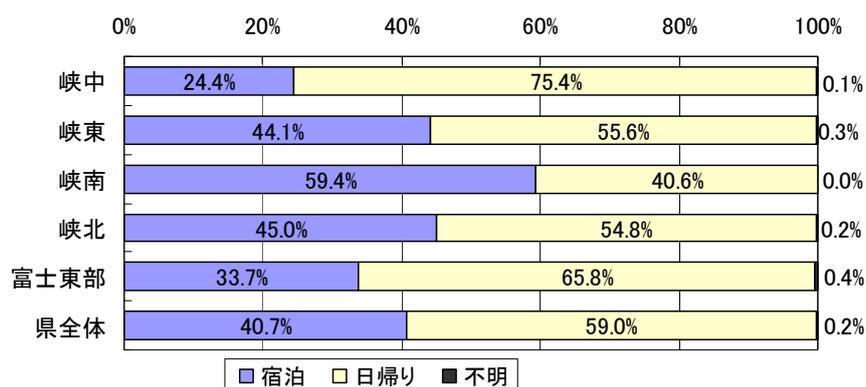
圏域	個人	家族	知人・友人	職場の団体	学校の団体	旅行会社などの募集旅行	地域等の団体	その他	不明	回答者数
峡中	16.6%	61.4%	18.3%	0.3%	1.0%	1.0%	1.0%	0.3%	0.0%	668
峡東	4.0%	65.1%	23.7%	1.9%	0.0%	4.2%	0.6%	0.5%	0.0%	624
峡南	14.5%	59.0%	22.5%	3.0%	0.0%	0.6%	0.4%	0.0%	0.0%	502
峡北	4.3%	74.6%	16.7%	1.0%	0.6%	1.6%	0.7%	0.5%	0.0%	996
富士東部	1.3%	55.0%	32.4%	0.9%	4.2%	3.4%	2.2%	0.4%	0.1%	673
県全体	7.4%	64.3%	22.1%	1.3%	1.2%	2.2%	1.0%	0.4%	0.0%	3,463



⑤ 宿泊の有無

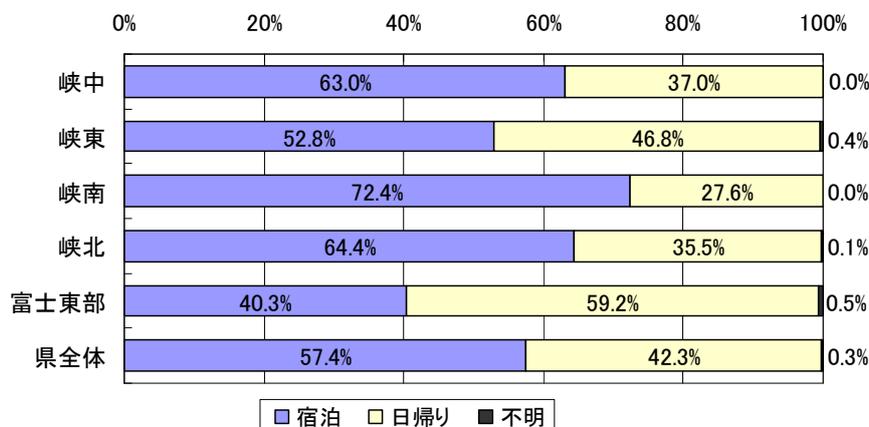
圏域別に旅行形態（宿泊か日帰りか）をみると、県外客と県内客を合わせた全体では「峡南」圏域で「宿泊」の方が多くなっているほかは、すべて「日帰り」が多くなっている。

宿泊／日帰り(全体)



県外からの観光客に限ってみると、「富士・東部」は全体の傾向と同じく日帰り客が中心であるが、他県域は「宿泊」の割合が高くなり、特に「峡中」、「峡南」及び「峡北」で「宿泊」が6割を超えている。県外客の居住地である首都圏から離れた地域では、宿泊者の割合が多くなる傾向がみられる。

宿泊／日帰り(県外客のみ)



⑥観光客の満足度

観光の分野別の満足度を、圏域別に比較した（ただし、「わからない」及び「不明」の回答は除く）。

◆峡中

「地元のおもてなし」や「道路設備」の満足度が、県全体に比べて低くなっている一方、美術館や武田氏ゆかりの史跡などが多いこともあり、「文化・歴史」に対する満足度（満足＋やや満足）が県全体に比べて高くなっている。

◆峡東

全体的な傾向は、県全体の満足度と同様であるが、特に「温泉」やフルーツをはじめとする「食べ物」に対する満足度が高い傾向になっている。一方、「宿のサービス」に対する満足度が、県全体に比べて低くなっている。

◆峡南

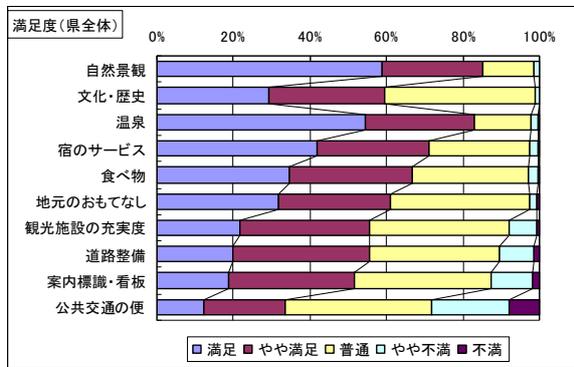
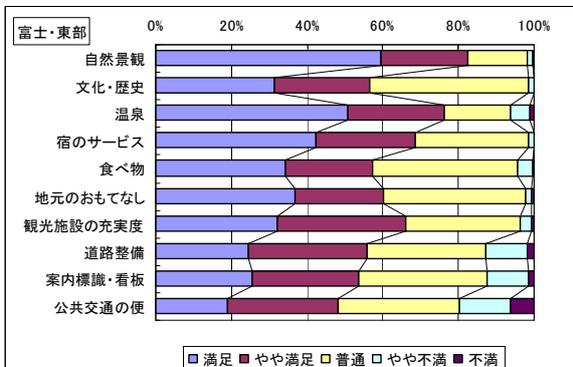
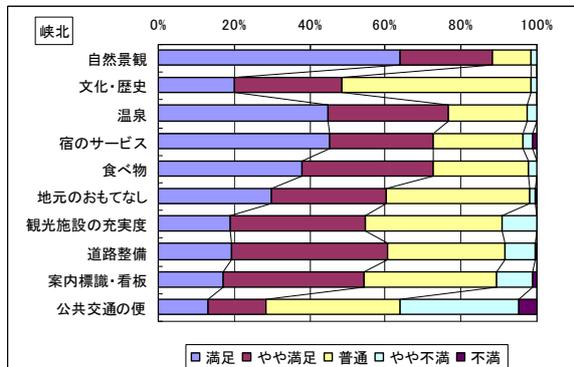
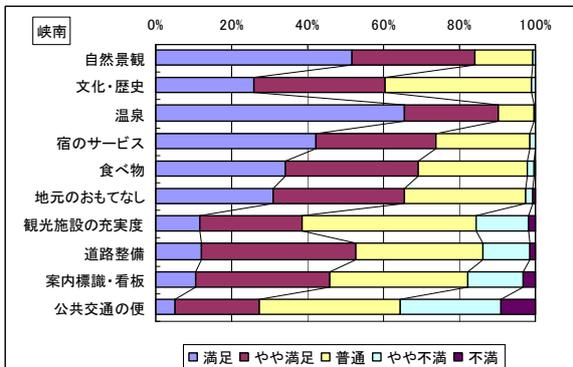
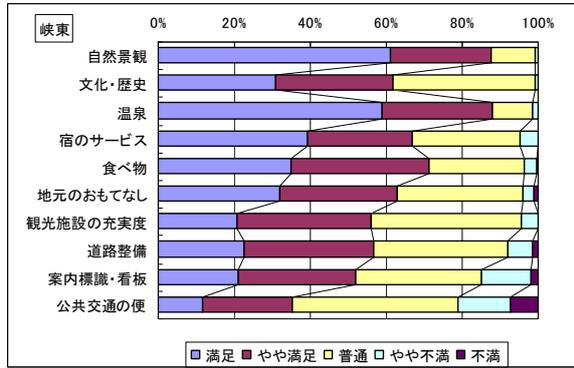
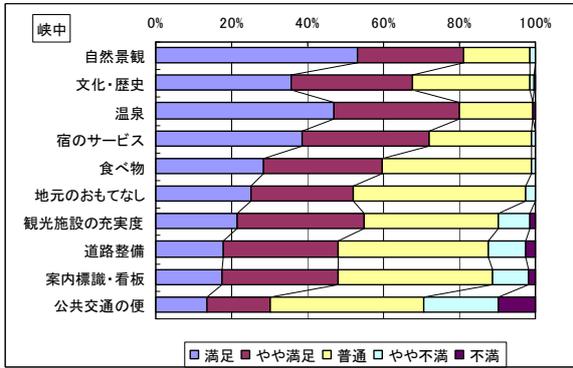
「観光施設の充実度」や「案内標識」に対する満足感が、県全体に比べて低くなっている。しかし、「温泉」や「地元のもてなし」、「宿のサービス」に対する満足度が高く、一般的に宿泊施設に対する満足度が高くなっている。

◆峡北

「文化・歴史」の満足度が低く、「公共交通の便」に対する不満足度（やや不満＋不満）36.3%で5圏域中最も高くなっている。一方、「道路整備」及び「案内標識・看板」の満足度は、県全体をやや上回っている。

◆富士・東部

「食べ物」や「温泉」などの満足度が、県全体を下回っているが、「公共交通の充実度」及び「観光施設の充実度」への満足度は、それぞれ県全体を10ポイント以上上回っている。



Q11-1. 今回の旅行ではここ以外に、どこに立寄られましたか。または、どこに立寄る予定ですか。

1. 山梨県内のみ (Q11-2へ)	2. 県外のみ (Q11-3へ)
3. 山梨県内・県外両方立寄る (Q11-2、11-3へ)	4. ここ以外、どこにも立寄らない (Q12へ)

Q11-2. 山梨県内 (ここ以外) に立寄る方にお伺いします。立寄られた (または、立寄る予定の) 地域と箇所数をお答え下さい。

1. 甲府市内 (箇所)	2. 峡中 (南アルプス市方面) (箇所)
3. 峡東 (石和温泉、フルーツパーク、恵林寺方面) (箇所)	
4. 峡北 (清里、小淵沢、八ヶ岳方面) (箇所)	
5. 峡南 (身延山、下部温泉、西山温泉方面) (箇所)	
6. 富士五湖周辺 (箇所)	7. 東部 (都留、大月、上野原方面) (箇所)

Q11-3. 県外に立寄る方にお伺いします。立寄られた (または、立寄る予定の) 地域をお答え下さい。

1. 首都圏 (除く「北関東」)	2. 北関東地方 (群馬・栃木・茨城)	3. 信越地方
4. 東海地方	5. 北海道・東北地方	6. 北陸地方
		7. 西日本

Q12. 今回の旅行で、山梨県内で使ったお金 (現金のほか、クレジットカード、プリペイドカードの利用も含む) は、1人あたりおいくらですか。また、その内訳もあわせて教えてください。もしはっきりしない場合は、だいたいの割合で結構ですから教えてください。

①旅行会社の企画をご利用の方

1. ツアー料金 () 円	2. それ以外の総消費額 () 円
----------------	--------------------

②上記以外の方

1. 宿泊費 () 円	2. 飲食費 () 円
3. 交通費 () 円	4. 入場・観覧費 () 円
5. 土産・買物費 () 円	6. その他 () 円

注) ・宿泊施設内での飲食費は、「飲食費」でなく「宿泊費」に入れてください。
 ・「交通費」には、ガソリン代、有料道路料金、自動車レンタル料金なども含まれます。

Q13. 今回の旅行での満足度をお答え下さい。(該当するものに○印をつけて下さい)

	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない
1. 自然景観	1	2	3	4	5	6
2. 文化・歴史	1	2	3	4	5	6
3. 温泉	1	2	3	4	5	6
4. 宿のサービス	1	2	3	4	5	6
5. 食べ物	1	2	3	4	5	6
6. 地元のおもてなし	1	2	3	4	5	6
7. 観光施設の充実度	1	2	3	4	5	6
8. 道路整備	1	2	3	4	5	6
9. 案内標識・看板	1	2	3	4	5	6
10. 公共交通の便	1	2	3	4	5	6

Q14. 県外にお住まいの方に伺います。また山梨へ来てみたいと思いますか。

1. そう思う	2. 思わない	3. どちらとも言えない
---------	---------	--------------

Q15. 山梨県では観光客の皆さんにとって快適で利用しやすい観光地づくりを目指しています。ご意見を自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました

